

# 令和4年度文化庁委託事業 劇場・音楽堂等基盤整備事業 報告書

令和5年3月





## はじめに

公益社団法人全国公立文化施設協会では、令和4年度、文化庁より「劇場・音楽堂等基盤整備事業」を受託いたしました。本事業は、劇場・音楽堂等に勤務する職員や文化行政担当者等に対し、必要となる情報収集や提供、研修を実施することにより、劇場・音楽堂等の活性化や実演芸術の振興、舞台の安全管理等を支援、推進をするものです。

本報告書では、本年度に実施した「劇場・音楽堂等基盤整備事業」の概要を取りまとめました。劇場・音楽堂等に勤務する職員や文化行政担当者の皆様が、それぞれの職場で業務を遂行する上でご参考にしていただければ幸いです。

情報提供事業においては、これまで実施してきたホームページやメールマガジンの発信、日常相談業務、支援員の派遣に加え、劇場・音楽堂等の活動状況を調査し報告書を作成いたしました。

研修事業においては、全国アートマネジメント研修会では、オンデマンド配信、ライブ配信に加えワークショップを実施いたしました。全国舞台技術研修会は、札幌にて研修を行いました。地域別研修会は会場の開催に加えライブ配信を併用するなど、オンラインの活用が定着し、多様な研修を提供するよう努めて参りました。

各事業の詳細については、各事業報告書及び当協会のホームページに掲載しておりますので、是非ご参照ください。末筆ながら、本年度の事業実施にあたりご支援、ご協力をいただきました関係者の皆様に、心よりお礼申し上げます。

令和5年3月

公益社団法人全国公立文化施設協会

# 目次

<b>I 劇場・音楽堂等基盤整備事業 事業概要</b> .....	3
令和4年度文化庁委託事業「劇場・音楽堂等基盤整備事業」 .....	4
<b>II 情報提供事業</b> .....	7
劇場・音楽堂等及び我が国の文化芸術の振興に関する情報、資料の収集・提供 .....	8
支援員の派遣による支援 .....	12
日常相談業務対応 .....	18
劇場・音楽堂等の機能強化に関する調査 .....	22
<b>III 研修事業</b> .....	25
全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会 .....	26
全国劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会 .....	42
地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント・舞台技術研修会 .....	45
<b>IV 参考資料</b> .....	61
基盤整備事業一覧 .....	62
支援員の派遣による支援募集要項 .....	66
「劇場・音楽堂等の活動状況に関する調査」調査票 .....	70
全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会募集要項 .....	80
全国劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会募集要項 .....	86

# I 劇場・音楽堂等基盤整備事業 事業概要

令和4年度文化庁委託事業「劇場・音楽堂等基盤整備事業」

# 令和4年度文化庁委託事業「劇場・音楽堂等基盤整備事業」

## 事業名

令和4年度「劇場・音楽堂等基盤整備事業」

## 事業実施期間

令和4年4月1日～令和5年3月31日

## 事業の趣旨・目的

本事業は、「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」（平成24年法律第49号。以下「劇場法」という。）及び「劇場、音楽堂等の事業の活性化のための取組に関する指針」（平成25年文部科学省告示第60号）並びに文化芸術基本法（平成13年法律第148号改正平成29年6月）を踏まえ、我が国の文化拠点である劇場・音楽堂等（劇場法第2条第1項に規定する劇場、音楽堂等をいう。以下同じ。）において、実演芸術（劇場法第2条第2項に規定する実演芸術をいう。以下同じ。）に関する活動や、劇場・音楽堂等の事業が自主的・主体的に行われるよう情報提供事業及び研修・交流事業を実施することにより、劇場・音楽堂等の活性化のための基盤の整備を行うことを目的とする。

## 事業内容

### 【情報提供事業】

- 1 劇場・音楽堂等及び我が国の文化芸術の振興に関する情報、資料の収集・提供  
全国の劇場・音楽堂等の事業や管理・運営に必要な情報を収集し、提供する。
  - (1) 資料等の収集・提供（ホームページ、メールマガジン、電話、FAX、情報コーナー等での情報発信）
  - (2) 専門人材（コーディネーター）の活用促進
  - (3) 新型コロナウイルス感染症への対策内容とその成果に関する情報の収集、提供
  
- 2 劇場・音楽堂等への芸術文化活動支援  
劇場・音楽堂等の個別課題や地域の課題に対し、各分野の有識者や専門家により各施設のニーズに適切に対応した相談や助言等の支援を行う。
  - (1) 支援員の派遣による支援
  - (2) 日常相談業務対応
    - ①電話、FAX、郵便、電子メール等による相談
    - ②面談による相談
    - ③オンラインによる相談

### 3 劇場・音楽堂等の機能強化に関する調査

「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律（平成24年法律第49号）」施行以後の劇場・音楽堂等の取組や課題等を踏まえ、さらなる劇場・音楽堂等の機能強化に関する調査・分析を行い、今後の劇場・音楽堂等の振興に係る諸施策に資する。

①劇場・音楽堂等におけるコンセプション推進事業

②劇場・音楽堂等の活動状況に関する調査

調査内容：テーマ「劇場・音楽堂等の活動状況に関する調査」

調査期間：令和4年10月13日（木）～11月17日（木）

調査対象：国公立施設2,128施設

#### 【研修事業】

##### 1 全国劇場・音楽堂等職員（アートマネジメント・舞台技術）研修会

劇場・音楽堂等の活性化、地域の文化芸術の振興等を目的としたアートマネジメントや劇場・音楽堂等の舞台技術を統括管理するために必要な専門知識・技術の取得に関する研修会を実施し、専門性の向上と劇場・音楽堂等の活性化を支援する。

①全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会

配信期間：令和5年1月17日（火）～2月28日（火）

ワークショップ：令和5年1月18日（水）～1月20日（金）（対面）

ライブ配信：令和5年1月24日（火）～1月26日（木）（オンライン）

②全国劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会

開催日：令和5年1月11日（水）～1月12日（木）

会場：札幌文化芸術劇場 hitaru

##### 2 地域別劇場・音楽堂等職員（アートマネジメント・舞台技術）研修会

①地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会

令和4年9月～令和5年2月

②地域別劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会

令和4年9月～令和5年3月

#### 【事業評価】

本事業の実施結果について、外部有識者の意見を聴取し、適切な事業評価を行う。





## Ⅱ 情報提供事業

劇場・音楽堂等及び我が国の文化芸術の振興に関する情報、資料の収集・提供

支援員の派遣による支援

日常相談業務対応

劇場・音楽堂等の機能強化に関する調査

# 劇場・音楽堂等及び我が国の文化芸術の振興に関する情報、資料の収集・提供

---

## 事業の目的

劇場・音楽堂等や文化芸術に係る情報、資料を広く収集し、わかりやすい方法で希望者に提供することで、劇場・音楽堂等に働く職員の知識、技術の全体の向上を図る。

## 事業実施期間

令和4年4月1日～令和5年3月31日

## 事業内容

(1) 資料等の収集・提供（ホームページ、メールマガジン、電話、FAX、情報コーナー等での情報発信）

### ○提供方法

- ・ホームページでの情報提供
- ・メールマガジンの発行
- ・メールやFAXでの情報提供
- ・情報コーナーの設置

### ○収集内容

- ・国及び地方公共団体の文化芸術振興施策、助成制度
- ・劇場・音楽堂等の管理や運営に関する統計資料、調査報告
- ・アートマネジメントに関する研修資料、調査報告
- ・舞台技術に関する研修資料、調査報告
- ・人材養成及び確保に関する研修資料、調査報告
- ・経営の安定化に関する資料、調査報告
- ・施設改修に関する資料、調査報告
- ・安全管理に関する資料、調査報告
- ・劇場・音楽堂等施設情報及び公演情報 等

(2) 専門人材（コーディネーター）の活用促進

各分野の専門人材に登録を依頼し、ホームページに公開

(3) 新型コロナウイルス感染症への対策内容とその成果に関する情報の収集、提供

- ・情報を随時ホームページに掲載
- ・メールマガジン等で情報を発信

(4) 劇場・音楽堂等 個別施設計画策定推進サポート事業

## 実施内容

(1) 資料等の収集・提供（ホームページ、メールマガジン、電話、FAX、情報コーナー等での情報発信）

### ○ホームページでの情報提供

ホームページを活用し、劇場・音楽堂等が必要かつ有益な情報、活動の幅を広げる情報を分かりやすく整理し、提供をする。

（掲載内容）

活動支援：施設に対する情報、支援、相談情報等を掲載（助成金／支援員／相談／よくある質問（FAQ）／改修相談／その他）

研修・イベント：研修会、イベント等の開催情報、募集等を掲載（全国アートマネジメント研修会／全国舞台技術研修会／地域別アートマネジメント研修会／地域別舞台技術研修会／その他）

政策・制度：国、行政の文化政策に関する情報を掲載（劇場・音楽堂等関連法規／文化政策／その他）

出版物・資料：公文協発行のハンドブック、書籍、事業実施報告書、調査研究報告書など

その他の支援：個別施設計画策定の推進のための情報提供

### ○メールマガジンの発行

メールマガジン「全国公文協情報フォーラム」を定期的（原則毎月15日）に発行。主に（1）全国公文協からのお知らせ、（2）ピックアップ、（3）会員等からのお知らせ、（4）コラム、（5）助成金等に関する情報をもとに構成。

発行：第128号（2022/4/15）～第139号（2023/3/15）

臨時号：2022/4/21、2022/11/10、2022/12/12、2023/1/31

送信数：約5,000通／1回

主な掲載内容：

号	発行日	内 容
第128号	2022/4/15	・文化庁事業受託のお知らせ ・支援員制度 申込開始 ・新任館長対象の研修会 ・〈連載コラム〉令和3年度全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会より ※助成情報（臨時号を除き毎号掲載）
第129号	2022/5/16	・新任館長（管理職）対象 研修事業〈再掲載〉 ・〈連載コラム〉令和3年度全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会より
第130号	2022/6/15	・ワークショップリーダー養成講座 告知 ・文化庁 アートキャラバン事業 採択 ・〈連載コラム〉令和3年度全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会より

号	発行日	内 容
第 131 号	2022/7/15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会 告知</li> <li>・全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会 告知</li> <li>・ワークショップリーダー養成講座 ライブ配信申込受付を延長</li> <li>・文化芸術推進基本計画（第2期）の策定に向けた意見募集の実施</li> <li>・公文協ガイドラインの改定予定</li> <li>・〈連載コラム〉令和3年度全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会より</li> </ul>
第 132 号	2022/8/15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化庁アートキャラバン事業 広報サイトリニューアル</li> <li>・ワークショップリーダー養成講座〈再掲載〉</li> <li>・公文協ガイドライン改定</li> <li>・文化庁 文化審議会第20期文化政策部会 第1回開催</li> <li>・文化庁「文化芸術分野の適正な契約関係構築に向けたガイドライン」ウェブサイトで公表</li> <li>・〈連載コラム〉令和3年度全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会より</li> </ul>
第 133 号	2022/9/15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会 告知</li> <li>・全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会 告知</li> <li>・文化庁 令和5年度の概算要求が公開</li> <li>・〈連載コラム〉令和3年度全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会より</li> </ul>
第 134 号	2022/10/17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「劇場・音楽堂等の活動状況に関する調査」ご協力のお願い</li> <li>・全国劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会 告知〈再掲載〉</li> <li>・全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会 告知〈再掲載〉</li> <li>・ワークショップリーダー養成講座 開催報告と御礼</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン 改定版を公開</li> <li>・〈連載コラム〉公立文化施設のこれからの連携のあり方 ～第1回 ファミリー向け、興行系企画の事業展開</li> </ul>
第 135 号	2022/11/15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会 募集開始</li> <li>・全国劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会 募集開始</li> <li>・文化庁委託事業「芸術家等実務研修会の実施」を受託</li> <li>・「劇場・音楽堂等の活動状況に関する調査」回答期限を延長</li> <li>・〈連載コラム〉公立文化施設のこれからの連携のあり方 ～第2回 地域の施設からネットワークやハブ機能を考える～</li> </ul>
第 136 号	2022/12/15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会 申込受付中</li> <li>・全国劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会 申込受付中</li> <li>・文化庁委託事業「芸術家等実務研修会の実施」研修会日程</li> <li>・〈連載コラム〉公立文化施設のこれからの連携のあり方 ～第3回「コロナ禍後に必要とされる役割と必要な支援制度」</li> </ul>
第 137 号	2023/1/17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化庁委託事業「芸術家等実務研修会」申込開始</li> <li>・全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会 申込受付中</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大予防 ガイドライン一部改定</li> <li>・文化庁 令和5年度予算について</li> </ul>
第 138 号	2023/2/15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化庁委託事業「芸術家等実務研修会の実施」申込受付中</li> <li>・全国アートマネジメント研修会 オンライン配信 申込受付中</li> </ul>
第 139 号	2023/3/15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告書のご案内</li> <li>・文化芸術分野の契約等に関する相談窓口期間延長</li> </ul>
臨時号	2022/4/21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度定時総会・研究大会（山形大会）開催について 参加募集を開始</li> </ul>
	2022/11/10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「劇場・音楽堂等の活動状況に関する調査」回答期限を延長</li> </ul>
	2022/12/12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国アートマネジメント研修会 ワorkshop受講生を追加募集</li> </ul>
	2023/1/31	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化庁委託事業「芸術家等実務研修会の実施」研修会申込受付中</li> </ul>

○情報コーナーの設置

事務所に情報コーナーを設け、全国の劇場・音楽堂等や、関連団体等からの情報を公開。また、これまで公文協が作成したハンドブック、報告書等も公開している。

(2) 専門人材（コーディネーター）の活用促進

各種専門家をアドバイザー・コーディネーターとして登録。研修会講師や相談員、支援員として派遣。

登録者数：アドバイザー 9名

コーディネーター 64名

(3) 新型コロナウイルス感染症への対策内容とその成果に関する情報の収集、提供

新型コロナウイルス感染症の対策についてガイドラインをはじめ関連情報を随時提供（メールマガジン・ホームページ等）

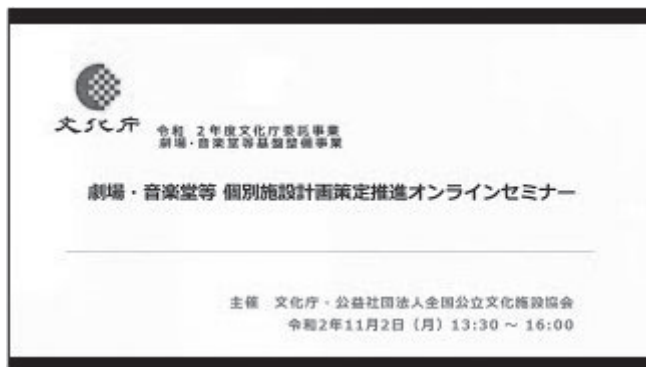
(4) 劇場・音楽堂等 個別施設計画策定推進サポート事業

①令和4年度劇場・音楽堂等個別施設計画策定推進オンラインセミナー

令和4年8月4日（木）～令和5年1月31日（火）

②令和4年度劇場・音楽堂等個別施設計画策定推進個別相談会

令和4年8月15日（月）～令和5年2月16日（木）



## 支援員の派遣による支援

---

### 事業の目的

劇場・音楽堂等において、実演芸術に関する活動や、劇場・音楽堂等の事業が自主的・主体的に行われるよう、自主事業の企画・実施、施設の管理・運営等に関する指導助言を行う専門家（以下、「支援員等」という）を派遣し、企画・運営力等の向上を図ることを目的とする。

### 支援内容（テーマ）

- (1) 運営方針等に関する指導助言
- (2) 年間事業計画に関する指導助言
- (3) 個別の自主企画事業の企画制作に関する指導助言
- (4) 中期計画（3か年程度）の企画立案に関する指導助言
- (5) 劇場・音楽堂等が行う芸術文化活動（創作活動）の企画制作に関する指導助言
- (6) 施設の管理・運営に関する指導助言
- (7) 施設の修繕・改修計画（個別施設計画等）の企画立案に関する指導助言
- (8) 劇場・音楽堂等の新設に関する指導助言（基本構想立案段階でも可）
- (9) 多言語対応、バリアフリーに関する指導助言
- (10) その他劇場・音楽堂等の活性化につながる指導助言

### 派遣する支援員等

- ・劇場・音楽堂等の活動の活性化に資する文化政策、舞台芸術、管理運営、事業企画、舞台技術、施設改修等の分野に関する有識者又は専門家。
- ・原則として、申込者毎に1名の派遣とする。審査会で支援内容により複数の支援員の派遣が望ましいと判断された場合は、複数の支援員を派遣する。
- ・同じ支援員は、同じ施設等に連続して2年までとする。

### 派遣の種類

- ・館派遣型：1施設を対象に派遣
- ・地域派遣型：複数施設に対しての支援（同一市内、同一県内の複数施設、同一管理者の複数施設等）

### 派遣回数・時間

年間最大3回まで。1回の支援時間は概ね4時間程度。

## 申込期間

令和4年4月15日（金）～5月6日（金）

## 審査会

委員：太下 義之（公社）全国公立文化施設協会 アドバイザー  
酒井 誠（公社）全国公立文化施設協会 名誉アドバイザー  
開催日時：令和4年5月19日（木）10:00～12:00  
開催場所：東京都中小企業会館 5階会議室  
派遣決定件数：46件 72回

## 実施期間

令和4年6月1日（水）～令和5年1月15日（日）

## 実施件数

46件 72回

## 報告書

ホームページに掲載

<https://zenkoubun.jp/support/advice.html>

## 支援員派遣実績一覧

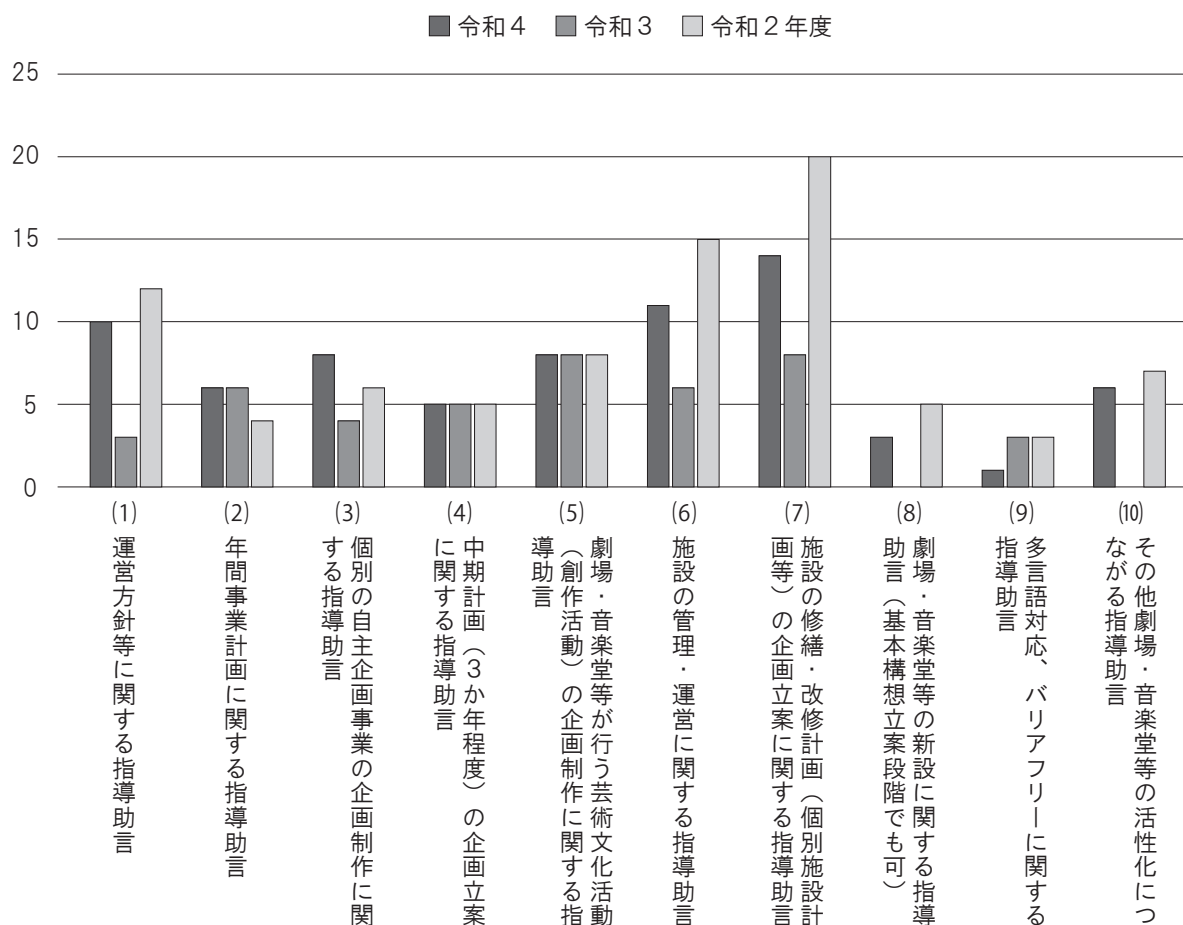
No.	都道府県	施設名	回数	支援員	(1) 運営 方針	(2) 年 間 計 画	(3) 自 主 企 画	(4) 中 期 計 画	(5) 芸 術 文 化 活 動	(6) 管 理 ・ 運 営	(7) 修 理 ・ 改 修 計 画	(8) 新 設	(9) 他 言 語 対 応 等	(10) そ の 他
1	北海道	旭川市民文化会館	2	伊藤 久幸							○	○		
2	北海道	網走市民会館	2	吉田 博彦						○	○			
3	北海道	釧路市民文化会館	2	山本 康友							○			
4	北海道	幕別町百年記念ホール (百年記念ホール)	1	渡部 久美						○				
5	岩手県	花巻市文化会館	2	本杉 省三							○			
6	宮城県	気仙沼市民会館	2	山海 隆弘										○
7	秋田県	秋田市文化創造館	1	森 隆一郎	○	○		○		○				
8	山形県	鶴岡市文化会館 (荘銀タクト鶴岡)	1	初山 勝人	○									
9	福島県	福島県文化センター(とうほう・みんなの文化センター)	1	中川 幾郎	○									○
10	茨城県	ひたちなか市文化会館	1	近江 哲朗							○			
11	埼玉県	上里町総合文化センター (ワープ上里)	2	神保 富美子		○	○							
12	埼玉県	さいたま市文化センター	2	柴田 英杞					○					
13	東京都	調布市文化会館たづくり (たづくり)	1	柴田 英杞					○					
14	東京都	くにたち市民芸術小ホール (芸小ホール)	2	松井 憲太郎	○	○		○		○	○			
15	東京都	小金井市民交流センター (小金井 宮地楽器ホール)	1	塩入 徹							○			
16	東京都	中野区もみじ山文化センター (なかの ZERO)	1	酒井 誠					○					
17	神奈川県	茅ヶ崎市民文化会館	2	南部 充央									○	
18	神奈川県	川崎シンフォニーホール (ミュージア川崎シンフォニー ホール)	2	湯浅 壱道						○				
19	富山県	黒部市国際文化センター (コラーレ)	1	大澤 寅雄	○									
20	富山県	南砺市城端伝統芸能会館 (じょうはな座)	2	小野木 豊昭			○							
21	長野県	飯田文化会館	2	草加 叔也								○		
22	長野県	下諏訪総合文化センター	2	塩入 徹							○			
23	長野県	長野県県民文化会館 (ホクト文化ホール)	1	林 健次郎	○				○					



No.	都道府県	施設名	回数	支援員	(1) 運営 方針	(2) 年 間 計 画	(3) 自 主 企 画	(4) 中 期 計 画	(5) 芸 術 文 化 活 動	(6) 管 理 ・ 運 営	(7) 修 理 ・ 改 修 計 画	(8) 新 設	(9) 他 言 語 対 応 等	(10) そ の 他
24	岐阜県	瑞浪市総合文化センター	2	草加 叔也		○			○		○			○
25	愛知県	犬山市民文化会館	2	浅野 芳夫				○		○				
26	大阪府	茨木市市民総合センター (クリエイトセンター)	2	森 隆一郎					○					
27	大阪府	熊取町公民館	2	初山 勝人										○
28	大阪府	堺市民芸術文化ホール (フェニーチェ堺)	1	森岡 めぐみ				○						
29	大阪府	堺市立西文化会館 (ウェスティ)	1	三宅 一也			○		○					
30	兵庫県	神河町中央公民館 (グリンデルホール)	2	白神 久吉							○			
31	兵庫県	丹波篠山市立田園交響ホール	2	木全 義男	○									○
32	兵庫県	西宮市民会館 (アミティ・ベイコムホール)	1	庄 健治	○						○	○		
33	鳥取県	鳥取県立倉吉未来中心	2	矢作 勝義			○							
34	鳥取県	わらべ館（鳥取県立童謡館、 鳥取世界おもちゃ館）	1	林 健次郎			○							
35	島根県	松江市八雲林間劇場 (しいの実シアター)	1	津村 卓		○								
36	島根県	島根県民会館	2	乳原 一美							○			
37	島根県	島根県芸術文化センター いわみ芸術劇場	1	神保 富美子						○				
38	島根県	松江市総合文化センター (プラバホール)	1	石田 麻子			○		○					
39	高知県	南国市地域交流センター	2	渡辺 昌明	○									
40	福岡県	久留米シティプラザ	1	渡部 久美						○				○
41	佐賀県	鹿島市生涯学習センター (エイブル)	2	阿部 栄						○				
42	熊本県	天草市民センター	1	漢 幸雄	○					○				
43	熊本県	大津町生涯学習センター	2	草加 叔也							○			
44	熊本県	八代市鏡文化センター	2	久保田 力		○	○	○						
45	長崎県	大村市体育文化センター (シーハットおおむら)	1	渡部 久美						○				
46	長崎県	長崎ブリックホール	2	伊東 正示							○			

支援内容実績比較（3 年・申込時）

	(1) 運営方針等に関する指導助言	(2) 年間事業計画に関する指導助言	(3) 個別の自主企画事業の企画制作に関する指導助言	(4) 中期計画（3 年程度）の企画立案に関する指導助言	(5) 劇場・音楽堂等が行う芸術文化活動（創作活動）の企画制作に関する指導助言	(6) 施設の管理・運営に関する指導助言	(7) 施設の修繕・改修計画（個別施設計画等）の企画立案に関する指導助言	(8) 劇場・音楽堂等の新設に関する指導助言（基本構想立案段階でも可）	(9) 多言語対応、バリアフリーに関する指導助言	(10) その他劇場・音楽堂等の活性化につながる指導助言
令和 4 年度	10	6	8	5	8	11	14	3	1	6
令和 3 年度	3	6	4	5	8	6	8	0	3	0
令和 2 年度	12	4	6	5	8	15	20	5	3	7



## 支援の様子



支援先の課題に対して、支援員による講義（上）のほか、施設職員が主体性をもちながら、グループワーク（下）が行われるなど、さまざまな形式で支援実施がなされた。



## 日常相談業務対応

---

### 事業の目的

劇場・音楽堂等が抱える個別課題解決に加え、必要とされる情報やノウハウ提供等相談を通して行い、解決への道筋を見出していく手助けを行い、劇場・音楽堂等の活性化を多面的に支援する。

### 実施期間

令和4年4月1日～令和5年3月31日

### 相談の実施方法

- (1) 電話、FAX、郵便、電子メール等による相談
- (2) 面談による相談
- (3) オンラインによる相談

### 相談の内容

- (1) 施設の運営及び事業の企画・実施へのアドバイス
- (2) 公演企画・契約がよりスムーズに行えるような仲介及び支援
- (3) 芸術・文化に関する最新の情報の提供
- (4) 施設の改修・新築計画の立て方等へのアドバイス
- (5) その他、劇場・音楽堂等の活性化のために必要な事項

### 相談対応者

劇場・音楽堂等及び舞台芸術の専門家、研究者等

### 対応時間

原則 10時00分～17時00分

### 相談結果報告

主な相談事項をFAQ「よくある相談」としてまとめ、広く公開をする

### 実施内容

- 1 来所による相談 1件
- 2 電話、FAX、電子メールによる相談 70件

相談内容	管理運営	20件
	改修、新設	10件
	コロナ禍	30件
	公演企画	6件
	その他	5件

## 相談事例

### I 施設の管理運営

#### ○管理運営

- ・施設のDX化導入の先進事例について
- ・貸館の利用促進策について
- ・利用料金設定の土日祝が割高の理由について
- ・貸館利用の時間区分（午前・午後・夜間）の決まりについて
- ・芸術監督との契約内容について
- ・技術職員の単価設定について
- ・過去5年の新規指定管理導入事例について
- ・指定管理者制度の導入事例、メリットとデメリットについて
- ・貸館利用団体の瑕疵に対する利用制限措置について
- ・貸館利用の際の脅迫メール等対応の契約明記について
- ・指定管理財団の理事長への民間人登用事例について
- ・自治体の文化芸術推進基本計画の策定状況について
- ・ホール利用者の貼った養生テープによる修復費用の賠償事例について
- ・緞帳のメンテナンスについて、他の施設の事例紹介打診
- ・開放型スプリンクラーの放水事故を受けて、他の事例について
- ・公演チケット購入時のマイナンバーカード連携について
- ・苦情、クレーム対応講師の紹介について
- ・報道された死亡事故の詳細情報について
- ・警察、公安への利用者情報の提供について

#### ○改修新設

- ・ホール天井への落下防止措置設置時のアスベストの扱いについて
- ・能楽堂のバリアフリー化について
- ・改修休館中のピアノ保管について
- ・舞台機構の不具合発生による利用者への損害補償と設置者の責務について
- ・緞帳、パイプオルガンのリユース先について
- ・コンサートホールのクローク設置理由について
- ・残響工事の事例について

- ・ 財政悪化に伴う設備更新と施設存続について
- ・ 改修設計の設計事務所情報について
- ・ 改修に向けた中立的コンサルタントについて

#### ○コロナ禍関係

- ・ コロナ禍の有観客公演について
- ・ 公演チケットの払い戻し方針
- ・ 自由席の設定について
- ・ 戦隊モノの握手会実施について
- ・ 施設内のマスク着用強制について（苦情）
- ・ コンクール等の出演者のステージ上の対応策
- ・ 学校発表会利用について
- ・ 政府のマスク着用等の緩和（自己判断）を受けて期限前の卒業式での対応について
- ・ 政府のマスク着用等の緩和（自己判断）を受けて改定の方向性について（多数）

#### 2 公演企画

- ・ コンクール審査において応募者なしの際の審査員謝金事例について
- ・ 改修後のオープニング事業の予算妥当性について
- ・ 大阪府内施設における外国人観客の受入状況について
- ・ 事業協賛スポンサー獲得について
- ・ バレエダンサーによるガラ公演について
- ・ 開館式典の見学先紹介

#### 3 その他

- ・ アートマネジメントについての受講先紹介
- ・ 公文協 web の提供情報の転載利用について
- ・ アリーナ施設の入会について
- ・ 専門人材の関東在住者について
- ・ 震災の被災状況について

## 質問・回答例

### Q：開放型スプリンクラーの放水事故を受けて、他の事例について

2022 年秋、自主事業コンサートの開場を控えた施設で、開放型スプリンクラーが突然放水し、出演の楽団の楽器や楽譜、施設ピアノを含む設備が汚損し公演が中止となりました。設置者である市は、楽団から損害を求められるとともに、原因究明を進められています。

A：前述の事例は報道等もあり広く知られるところとなりましたが、他の施設でも同様の開放型スプリンクラーによる放水事故が散発しています。しかしながら、個々の事故において想定される発生原因が異なります。

施設管理者としては、スプリンクラー等の消火設備について、適性で定期的なメンテナンスを怠らないこと、放水事故が発生した際の止水栓の場所や対応を職員間で周知しておくことが必要となります。また、発生した際に音響反射板等が放水を含んだ荷重により落下する恐れがあるので、舞台上からの避難を促すことも必要となります。

### Q：舞台機構の不具合発生による利用者への損害補償と設置者の責務について

施設の老朽化に伴い、舞台機構の不具合が発生しておりこれまでは現場の機転等により対応し、利用者に迷惑が及ばなく済んでいた。今後、公演中止等が発生する可能性もゼロとは言えない。

A：施設管理者は、指定管理等の管理予算内で軽微な修繕等を進めていますが、予算を超える大規模な修理や改修については、設置者が行うこととなっています。しかしながら、修理の必要性を設置者に伝えてもなかなか直ぐに対応頂けないことが多いのが現状で、不具合等で利用者に迷惑をかけた際に責任の所在が曖昧になりがちです。

施設管理者は、舞台機構等の施設設備に定期的なメンテナンスを行うとともに、修理や回収等が必要な場合は設置者に対して、メンテナンス記録と併せて書面で必要性や要望を定期的に伝えていくことで、修理を促すとともに責任の所在を明確化していくことが必要となります。

### Q：改修後のオープニング事業の予算妥当性について

改修後のオープニング事業の検討を進めているが他の施設等ではどの程度の規模の予算で事業を検討しているのか。

A：施設の使命や規模、改修前の既存事業や地域のニーズも様々であり、新規開館や改修後のオープニング事業について必ずしも一定の予算額の必要性が広く共有されている訳ではありません。内容的には、地域の開館に対する期待促進や今後の継続的な事業プログラムの観客育成につながるような公演等の事業が考えられます。また、演劇や音楽等の特定のジャンルに偏ることなく、より幅広い期待に応えることも求められます。自治体規模や施設規模が類似の施設のホームページ等の記録事例を参考にされ、事業プログラムの内容から必要となる予算額を想定されてはいかがでしょうか。

# 劇場・音楽堂等の機能強化に関する調査

---

## 事業の目的

「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律（平成24年法律第49号）」施行以後の劇場・音楽堂等の取組や課題等を踏まえ、さらなる劇場、音楽堂等の機能強化に関する調査・分析を行い、今後の劇場・音楽堂等の振興に係る諸施策に資する。

## 事業実施期間

令和4年4月1日～令和5年3月31日

### (1) 劇場・音楽堂等におけるコンセッション推進事業

- ①劇場・音楽堂等向けコンセッション 参考資料の作成（契約書・要求水準書 ひながた作成）
- ②情報提供用ホームページの作成
- ③解説動画の作成・配信（全国アートマネジメント研修会で実施）

### (2) 劇場・音楽堂等の活動状況に関する調査

## 調査項目

- [ブロック1] 施設の基本情報
  - ・施設名称、住所
  - ・設置者について
  - ・指定管理者制度の導入状況について
  - ・ホールの席数
  - ・運営方針の有無について
- [ブロック2] 職員の状況
  - ・職員について
  - ・職員の採用について
  - ・専門的人材の確保について
- [ブロック3] 施設運営費
  - ・施設利用実績について（令和3年度実績）
  - ・施設運営費について（令和3年度決算ベース）
  - ・補助金等の活用状況
- [ブロック4] 施設の利用状況
  - ・主催文化事業（令和3年度実績）について
  - ・人材養成事業（令和3年度実績）について



- ・普及啓発事業（令和3年度実績）について
- ・事業運営にあたっての課題
- ・貸館事業（令和3年度実績）について

[ブロック5] 事業の実施状況

- ・配慮を要する利用者への受入体制
- ・地域・社会貢献活動の実施について
- ・危機管理、安全管理について
- ・耐震改修の実施状況
- ・ボランティアについて
- ・友の会について
- ・情報発信
- ・業務の効率化等について
- ・施設の課題について

調査期間：令和4年10月13日（木）～11月17日（木）

調査対象：国公立施設 2,128施設

回答数（回答率）：1,248施設（58.6%）

**調査報告書**

発行：令和5年3月

<https://www.zenkoubun.jp/publication/survey.html>



## Ⅲ 研修事業

全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会

全国劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会

地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント・舞台技術研修会

# 全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会

---

## 事業の目的

劇場・音楽堂等の活性化、地域の文化芸術の振興を目的として、アートマネジメントに関する研修を体系的に実施することにより、専門性の向上と劇場・音楽堂等の活性化を支援する。

## 対象

劇場・音楽堂等職員、地方自治体の文化芸術振興行政担当者、アートマネジメント教育関係者、学生、アートマネジメントに関心のある方、一般の方等

## 開催日

オンデマンド配信：令和5年1月17日（火）～2月28日（火）

収録：令和4年11月18日（金）、29日（火）

収録場所：新国立劇場 他

ライブ配信：令和5年1月24日（火）～1月26日（木）

ワークショップ：令和5年1月18日（水）～1月20日（金）（対面）

会場：東京都中小企業会館 講堂（9階）、会議室（8階）

## 募集期間

オンデマンド配信：令和4年11月15日（火）～令和5年2月28日（火）

ワークショップ：令和4年11月15日（火）～12月5日（月）

## 実施内容

企画委員：大久保 充代（公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター

草加 叔也（公社）全国公立文化施設協会 アドバイザー

柴田 英杞（公社）全国公立文化施設協会 アドバイザー

水戸 雅彦（公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター

## 企画会議（第1回）

開催日時：令和4年5月31日（火）10：00～12：00

開催場所：東京都中小企業会館5階会議室

議題：1 令和3年度研修会実施状況について

2 令和4年度研修会の実施について

## 企画会議（第2回）

開催日時：令和4年7月8日（金）13：30～15：30

開催場所：東京都中小企業会館5階会議室

- 議 題：1 研修会開催方法について  
2 プログラム内容について  
3 スケジュールについて

## 企画調整会議

開催日時：令和4年8月～12月

開催場所：東京都中小企業会館4階事務室

- 議 題：1 研修会概要説明  
2 プログラム構成について  
3 スケジュールその他

## 研修会

- モデレーター：石田 麻子（公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター  
大久保 充代（公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター  
小野木 豊昭（公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター  
草加 叔也（公社）全国公立文化施設協会 アドバイザー  
柴田 英杞（公社）全国公立文化施設協会 アドバイザー  
神保 富美子（公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター  
竹内 淳（公社）日本オーケストラ連盟 常務理事・事務局長  
廣川 麻子（公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター  
水戸 雅彦（公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター

申込者：1,398名

閲覧数延べ：4,624名、6,309回

ワークショップ参加者：37名

## オンデマンド配信プログラム

### 【特別企画】

### 劇場とともに—日本の劇場に求められること—



【講師】

吉田 都 氏 新国立劇場 舞踊芸術監督

【インタビュアー】

石山 智恵 氏 フリーキャスター

英国のロイヤル・バレエ団でプリンシパルとして長い間活躍され、2020年に新国立劇場の舞踊芸術監督に就任した吉田都氏。アーティストとして、芸術監督として、劇場とともに歩んできたご経験から、劇場という“場”に対する思いを伺います。芸術監督に就任して2年間、コロナ禍で活動を続けてきた中で考える、芸術・劇場がもつ役割とは。劇場の現場で働く皆さんへのメッセージです。



## オンデマンド配信プログラム

### 【人材養成講座】

#### 自治体文化政策と劇場・音楽堂等



【講師】

中川 幾郎 氏（公社）全国公立文化施設協会 名誉アドバイザー

この講座は、公立の文化ホール、市民会館、劇場、音楽堂等の経営や現場実務に携わる人を対象としてお話しします。もちろん、自治体の文化行政担当部署の職員さんもお聞き頂ければければ、と思います。自治体文化政策はなぜ必須不可欠な行政分野となっているのか。市民文化政策と文化的人権。都市文化政策と都市の経済活性化、観光政策との関係。文化芸術基本法を理解する。劇場・音楽堂活性化法を理解する。公共的な劇場経営の基本を理解し、劇場の経営戦略を明確化する。その他、指定管理者制度留意点と今後の方向性。行政（施設設置者）と公設財団（指定管理者など）のあるべき姿、など、現場が身につけるべき文化政策理論を分かりやすくお話しします。



### 【人材養成講座】

#### 文化政策と劇場・音楽堂等



【講師】

柴田 英杞 氏（公社）全国公立文化施設協会 アドバイザー  
令和3年度全国アートマネジメント研修会プログラム 再配信

### 【人材養成講座】

#### 劇場・音楽堂等の事業、危機管理とリスク対応



【講師】

間瀬 勝一 氏（公社）全国公立文化施設協会 名誉アドバイザー  
令和3年度全国アートマネジメント研修会プログラム 再配信

# オンデマンド配信プログラム

## 【政策】

### 「コンセッション事業の可能性について」



#### 【講師】

堀内 威志 氏 文化庁 企画調整課 課長補佐  
岩槻 大輔 氏 (地独) 大阪市博物館機構 事務局 総務課長

#### 【モデレーター】

吉本 光宏 氏 (公社) 全国公立文化施設協会 コーディネーター

6月に発表された政府の“骨太の方針”に、「民間による社会価値の創造」の一環として「文化施設へコンセッション導入」が明記され、利用料金の徴収を行う公共施設について、施設の所有権を自治体が有したまま、運営権を民間事業者を設定する方式の活用対象の拡大が示されました。本講座では、このようなコンセッション事業（公共施設等運営事業）の概要について説明するとともに、先行事例である美術館への導入として大阪市中之島美術館を紹介し、文化施設への展開について概観します。





# ライブ配信プログラム

1月24日（火） 10：30～12：00

## 劇場空間の活かし方

—地域の文化拠点としての機能を発揮する先進事例とともに—



【講師】

松本 桜子 氏（公財）札幌市芸術文化財団 市民交流プラザ事業部 センター事業課事業係  
常廣 大助 氏 調布市せんがわ劇場 館長

【モデレーター】

神保 富美子 氏（公社）全国公立文化施設協会コーディネーター

劇場法では、劇場・音楽堂等は「地域の文化拠点」や「新しい広場」としての役割が求められております。この劇場法制定から10年が経過し、劇場・音楽堂等の現場ではホールでの演劇や音楽などの公演という形に縛られずに劇場空間を幅広い形で捉え、劇場ファンづくりや、地域貢献を目指した事例が出てきております。本講座では、政令指定都市札幌市の複合施設と東京都調布市の演劇専用ホールにおける創意工夫を重ねた先進的な事例等を紹介しながら、地域と共存し、地域に支援されるための劇場空間について考えます。



## ライブ配信プログラム

1月24日（火） 13:30～15:00

### 「文化芸術推進基本計画（第2期）」の審議過程と今後に向けて



【講師】

小林 真理 氏 東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学専攻 教授

【モデレーター兼講師】

石田 麻子 氏 （公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター

【講師】

岸 正人 （公社）全国公立文化施設協会 専務理事兼事務局長

「文化芸術推進基本計画（第2期）」が文化審議会文化政策部会において現在審議中で、間もなく文部科学大臣に答申されることになっています。その検討状況を踏まえ、次期文化芸術推進基本計画の要点、方向性等について、文化政策部会委員として計画策定に直接かかわっておられるお二人からお話をお伺いして、国の文化政策の形成過程を知る一助とします。地方自治体や公立文化施設が次期基本計画を読み解き、今後を展望するために直接資する講座としていきます。



## ライブ配信プログラム

1月25日(水) 10:30~12:00

### 楽器のおはなし

—ホールのピアノはどのように扱ったらよいか—



[講師]

伊藤 誠 氏 (株)ヤマハミュージックジャパン カスタマーサポート部  
ピアノ技術サービス課

松島 千裕 氏 東京芸術劇場 管理課 舞台管理

[モデレーター]

竹内 淳 氏 (公社)日本オーケストラ連盟 常務理事・事務局

多くの文化施設で、ピアノの扱い方について日々疑問に思っていることは意外と多いのではないのでしょうか。

- ・ピアノにしてはいけないことは何？
- ・ピアノは何年使えるの？
- ・調律師は調律のときどんなことをしているの？

この講座では、施設のピアノの保管方法、日々の管理、定期的なメンテナンスなど、施設が抱えている疑問を解き明かし、ピアノを少しでも「長持ち」させるためのヒントを、専門家の立場から語っていただきます。



## ライブ配信プログラム

1月25日(水) 13:30～15:00

### 劇場が「じぶんごと」として企画するには？

— 障害者による文化芸術活動の推進のために —



[講師]

山村 研二 氏 文化庁 地域文化創生本部事務局 総括・政策研究グループリーダー  
吉野 さつき 氏 愛知大学文学部人文社会学科 教授

[モデレーター]

廣川 麻子 氏 (公社) 全国公立文化施設協会コーディネーター

2018年に制定された「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」は、障害者の鑑賞の機会、参加の機会を保障しています。施行から5年目の現在、現状はどうでしょうか。とりわけ、聴覚障害者、視覚障害者が劇場にアクセスするにあたって課題が多く残されています。その背景として、各団体が「じぶんごと」として受け止め切れていない点があるのではないのでしょうか。法律の意義を確認し、意識をアップデートする機会にしましょう。



## ライブ配信プログラム

1月26日（木） 10：30～12：00

### 〈伝統芸能〉事業展開のカギ…その文化政策的視点とは？

—次世代への普及と地域振興に向けて—



[講師]

綿江 彰禅 氏 （一社）芸術と創造 代表理事

[モデレーター]

小野木 豊昭 氏 （公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター

前進・上昇志向を一時休止して「後方や足元に蓄積された伝統文化への着目」へ…コロナ禍は、私たちに意識の軌道修正を促している、と受け止められるのではないのでしょうか。伝統芸能への取り組みにかかっているブレーキを外し、本来「面白く、楽しく、カッコイイ」はずの、地域ひいては日本の伝統文化へのアプローチについて、文化政策的視点から具体的かつ実践的な方法論の共有を目指したいと思います。子どもたちへ、そして地域振興に向けて、伝統文化の価値を伝えられるのは公共の文化事業だけなのかもしれません。



## ライブ配信プログラム

1月26日(木) 13:30～15:00

### 公立劇場の建替え(あるいは大規模の模様替え)への決断と 再建へのロードマップ

—フェニーチェ堺と岡山芸術創造劇場の事例研究—



【講師】

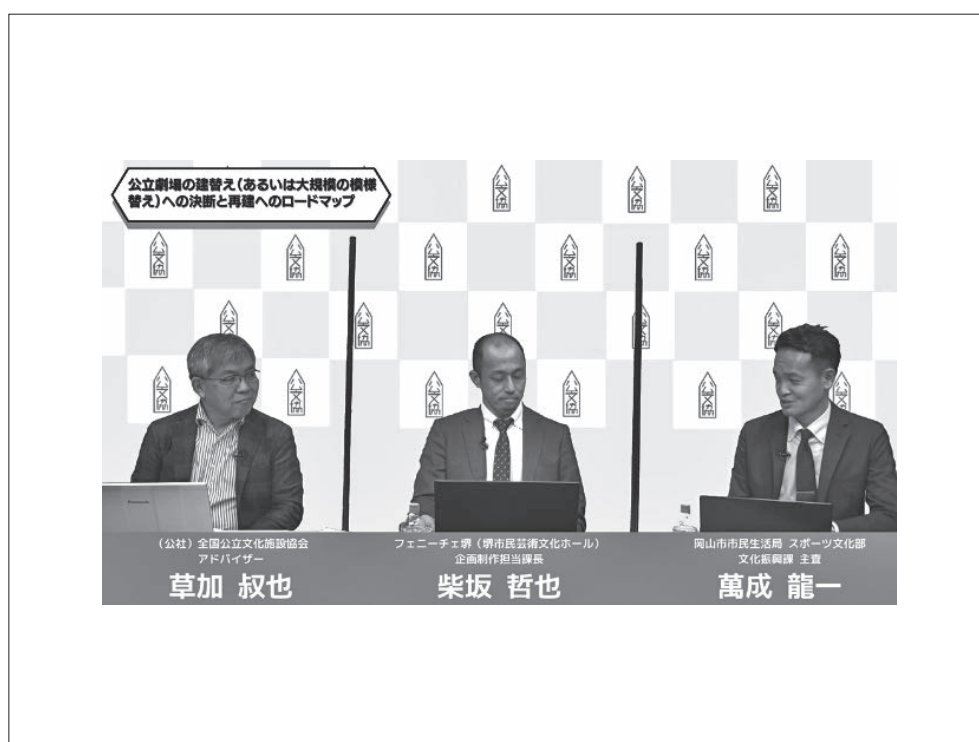
柴坂 哲也 氏 フェニーチェ堺(堺市民芸術文化ホール) 企画制作担当課長

萬成 龍一 氏 岡山市市民生活局 スポーツ文化部 文化振興課 主査

【モデレーター】

草加 叔也 氏 (公社) 全国公立文化施設協会 アドバイザー

近年の公立劇場の建替え(あるいは大規模の模様替え)では、耐震性能不足の補強や舞台設備を含む設備の老朽化、特定天井改修などの改修経費と、新たな施設整備に伴う投資を比較した上で建替えを決断することが少なくありません。また、建替えを決断する場合には、前後して建替えのためのロードマップを検討していくことが求められます。そのロードマップ検討で最も大きなポイントになるのは、現地建替えか否か、整備手法(従来手法、PFI、ECI、DB、リース、再開発など)、そして整備費の調達などです。今回は、これらのことを事例を通してご理解いただく上で、フェニーチェ堺と岡山芸術創造劇場の整備を通じて考えていきます。



## ワークショッププログラム

1月18日(水) 13:00～1月20日(金) 12:00

【地域社会の中で息づく劇場・音楽堂を考える】

—我が国の文化政策、劇場法、劇場法にかかる指針等を  
劇場経営にどう活かせるか?—



【講師】

坂崎 裕二 氏 (公財) 可児市文化芸術振興財団 事業制作課長

赤羽根 哲也 氏 (公財) さいたま市文化振興事業団 事業課課長補佐

【講師・モデレーター】

柴田 英杞 氏 (公社) 全国公立文化施設協会 アドバイザー

対象者：劇場・音楽堂等勤務歴10年程度の方、中堅職員の方等

劇場法が制定されて10年が過ぎ、2023年は第16条に基づく大臣指針が策定されて10年目を迎えます。現在、職員は世代交代し、劇場法の理念や考え方が明確に次代に受け継がれているかを確認する時期にきています。政策や法律は、劇場現場からは遠い存在ですが、指定管理者制度の更新や助成金申請等には、理論や概念として理解し、現場で積極的に活かすことが必要です。次代を担う劇場職員の方々奮ってご参加ください。時代の変化に耐えうる劇場経営について、講師や参加者と共に大いに語り、悩みましょう。劇場経営に正解などありません。応用問題を日々解き続けるために心身の体力と思考力を鍛錬することが求められています。



## ワークショッププログラム

1月18日(水) 9:30～1月19日(木) 12:30

### 【公立文化施設活性化のためのステップ・アップ研修A】

#### 館長の役割～館を任されたら

【講師】

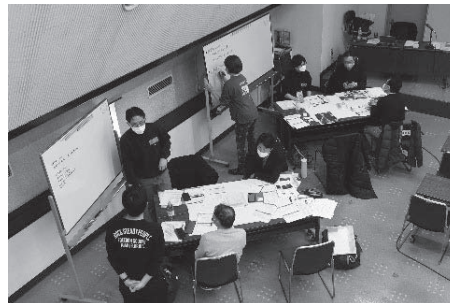
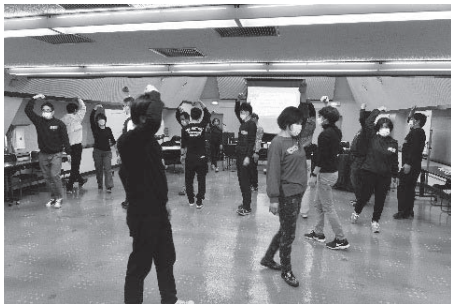
北村 成美 氏 ダンサー・振付家

【講師・モデレーター】

大久保 充代 氏 (公社)全国公立文化施設協会 コーディネーター

対象者：館長等施設運営責任者、管理職の方等

館長の役割とは、館の方針と戦略を示し、メンバーのモチベーションを高め、チームでミッションの実現と目標の達成を果たすといった総合的で困難なものです。本講義では、現在あるいはこれから館を任される（時期にきている）方々を対象に、劇場経営において館長が行うべき基本事項を整理していきます。参加者同士も話し合い、現在抱える悩みについて解決の糸口を一つでも見つけ出すことを目指します。グループワークと理論をふまえた講義から構成する課題解決型の研修です。





## ワークショッププログラム

1月19日(木) 13:30～1月20日(金) 16:45

### 【公立文化施設活性化のためのステップ・アップ研修B】

#### 何が人と組織をいきいきと動かしていくのか

【講師】

柏木 陽 氏 NPO 法人演劇百貨店 代表、演劇家

【講師・モデレーター】

水戸 雅彦 氏 (公社) 全国公立文化施設協会 コーディネーター

対象者：館長等施設運営責任者、管理職の方等

公立文化施設は、地域文化を創造するコミュニティの拠点です。

人と地域が豊かになるためには、まず公立文化施設がいきいきと活性化することが大切です。そのためには、楽しく仕事のしやすい環境、モチベーションの高さ、信頼関係などが必要と考えられます。また、多様な市民が多様な文化と繋がるためには、市民と協働し、柔軟性のある取り組みが不可欠です。ケーススタディでさまざまな考え方を共有し、参加者が抱える課題の解決に向けてグループワークにより学びを深めていきます。



## 報告書

ホームページに掲載

<https://www.zenkoubun.jp/training/art.html>

### 参加者アンケート（全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会アンケートより）

#### 〈オンデマンド配信プログラム〉

- ・新国立劇場と地方の公立劇場では予算規模や後背人口が異なるとはいえ、参考になった。未来の観客を育てる＝子どもに本物を見せる機会を充実させていきたい。
- ・開演前アナウンスが客席の雰囲気を与える影響や、イギリスの劇場の視覚障害者への取り組みなど、今後の運営において考えさせられる要素をいただいた。
- ・事例の少ないコンセッション方式の文化施設運営について詳しく知ることができ、参考になった。
- ・現場の率直な意見が挙がりとても参考になった。
- ・公共ホールには社会開発事業を行う社会的使命があることを再認識できた。地域を巻き込むような事業を工夫して実施していきたいと思った。
- ・政策評価と合わせて解説されていたので、行政担当者として中期プラン作成の参考になった。

#### 〈ライブ配信プログラム〉

- ・規模の大きな劇場と地域に根づいた小さな劇場との比較が面白かった。対象にしたい人が誰なのかを明確にすることが重要だと感じた。
- ・地域特性、ニーズの把握だけでなく、これまで積み重ねてきたノウハウやネットワークから、ビジョン・ミッションにかなう事業企画が立ち上がっていく様子がよくわかり、勉強になった。
- ・現状を分析し課題を洗い出し、それぞれの地域、ニーズを踏まえた展開を、劇場・地域の内外で目的意識を共有しつつ絶えず創意工夫しつつ協働していくことの重要性を感じた。
- ・行政に対し継続的に訴え続けることが必要であると痛感した。
- ・今の状況を負担に思わず、チャンスだと思って生かして打って出ること、他者と連携し自らまた一緒に成長していくことが大事だと思った。
- ・ホールの顔であるピアノをしっかりと管理することが、利用者の信頼につながるという内容が印象に残った。
- ・ピアノが非常にデリケートな楽器で温湿度管理や定期的な点検が重要であること、そのためには調律師やメーカーの方との信頼関係を築いていくこと、自分も利用者も大切に扱い管理していくことが重要であると理解した。
- ・企画する側の立場の自分は「じぶんごと」に考えられず自己満足で終わってしまっていることに気づかされた。企画するには全方向からの視点で見られるように考えていき

たい。

- ・ 3人それぞれ異なる立場からの意見を聞くことができ、視野が広がった。
- ・ 障害のある方を対象とする事業をどのように実施していけばよいか、迷っている職員にとって「対象者を他人ごとではなく自らの今後に置き換えて自分事として考える」という提案は、考えるきっかけを後押しする内容であったと思う。
- ・ 登壇されたお二人の視点が異なり、多角的に分析・問題提起されていたことが素晴らしかった。全体的にロジカルでありつつ、実際の現場からの熱い想いも含まれており、今後事業を行う人たちにとっても有意義な内容だったのではないかな。
- ・ 若者の実態を分析して伝統芸能へアプローチしているところが踏み込んでいてなるほどと感じた。自分自身 20 代前半なので、若者から見た舞台芸術、伝統芸能についてもっと考えていきたいと思った。
- ・ 規模の違う施設の比較が面白かった。また、事業の成功例が聞けて良かった。
- ・ 同じように築年数の古いホールがあり、都市再生計画に伴う再建設がささやかれている都市で働いているので、非常に参考になった。

#### 〈ワークショッププログラム〉

- ・ 法律ができた背景や時系列を整理でき、自分の頭の中も整理できた。今後は、法律を判断基準だけでなく、行政との交渉事にも活用していきたいと思う。
- ・ 大変有意義な時間を学ぶことができた。もう少し自分の知識を深めていきたいと思った。
- ・ 日頃から考えてモヤモヤしていたことを整理できた。
- ・ 環境の違いはあれ、皆さん同じような悩みをお持ちだった。職場に持ち帰りメンバーとより良い館づくりをしていきたい。今回出逢った皆さんと今後もつながっていきたい。
- ・ とても新鮮で楽しかった。今後はこの気持ちを糧に業務に従事していきたい。
- ・ 大変おもしろく、参考になった。今後も同様の研修があれば他の職員にすすめたい。

#### 〈オンライン配信について〉

- ・ 職場のパソコンで見られるので移動時間もなくて良かった。興味のある講座を選べ、途中で電話や来客対応で中座しても、簡単な操作で遡って見られて良い。
- ・ 施設休館日が少なくスタッフ全員が一堂に会する機会を設けることが難しいため、コロナ終息後もオンライン配信等の研修機会が継続されることは有意義だと思う。

# 全国劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会

---

## 事業の目的

劇場・音楽堂等の活性化、地域の文化芸術の振興を目的とした舞台技術を統括管理するために必要な専門的知識・技術の獲得に関する研修会を実施し、専門性の向上と劇場・音楽堂等の活性化を支援する。

## 対象

劇場・音楽堂等の舞台技術管理者及び舞台技術管理責任者または舞台技術担当職員、文化行政主管部局の舞台技術担当職員、劇場・音楽堂等関係者、その他舞台技術関係者、舞台技術に関心のある者 等

## 開催日

令和5年1月11日（水）～1月12日（木）

## 会場

札幌文化芸術劇場 hitaru（北海道札幌市中央区北1条西1丁目）

## 募集期間

令和4年11月15日（火）～令和5年1月4日（水）

## 実施内容

企画委員：伊藤 久幸（公社）全国公立文化施設協会コーディネーター

## 研修会

モデレーター：伊藤 久幸（公社）全国公立文化施設協会コーディネーター

参加者：100名

## プログラム

【プログラム1】ワイヤレスインカム・Wi-Fi 基礎とその仕組みを学ぶ

〔講師〕水村 昭則 氏 ベステックオーディオ（株）

【プログラム2】ワイヤレスマイク（A帯、B帯）基礎とその仕組みを学ぶ

〔講師〕井上 直行 氏 シュア・ジャパン（株）

【プログラム3】携帯抑止装置（携帯電話）基礎とその仕組みを学ぶ

【講師】滝川 政志 氏（株）テレ・ポーズ

【プログラム4】システム説明・質疑応答及び12日の実験に向けて

【講師】水村 昭則 氏、井上 直行 氏、滝川 政志 氏

【プログラム5】3社による合同の検証実験

【講師】水村 昭則 氏、井上 直行 氏、滝川 政志 氏

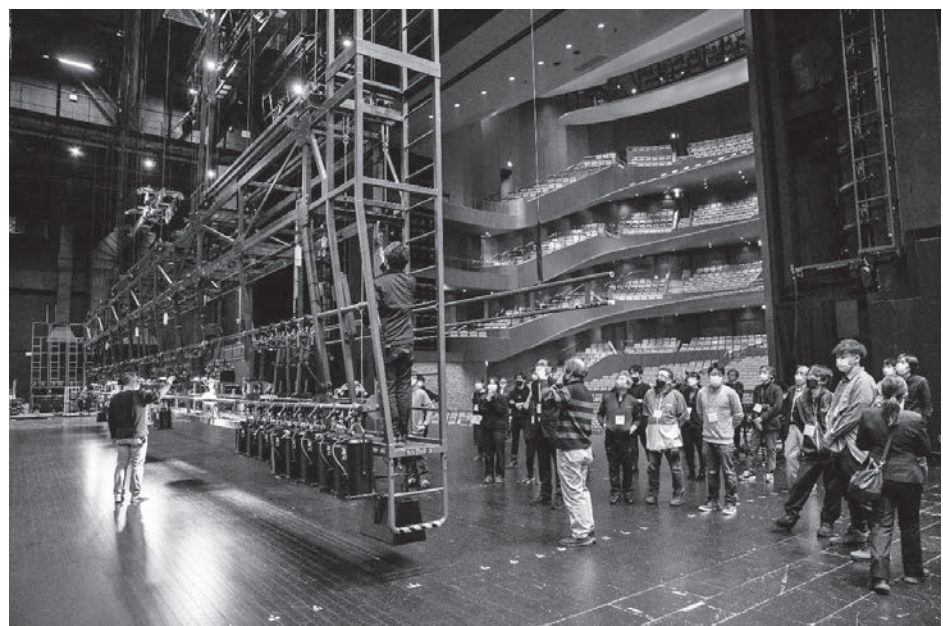
【プログラム6】保守点検と改修工事「説明する」ということ

【講師】伊藤 久幸 氏

【プログラム7】関連法令 高所作業など

【講師】齋藤 玲 氏（公財）札幌市芸術文化財団 市民交流プラザ事業部舞台技術係長

#### 研修の様子



## 報告書

ホームページに掲載

<https://www.zenkoubun.jp/training/technic.html>

### 参加者アンケート（全国劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会アンケートより）

- ・電波（周波数帯）に係るトラブルの原因や、日頃の管理や対策などくり返し講義して頂き大変参考になりました。
- ・劇場で働く方々の安全をどう担保していくのか、ルール作りなど今後必要な作業を行っていきたいと思いました。
- ・音響に関する知識が浅く、今回の講義も難しく感じる点が多かったが、知らない世界に対して興味を持つ良いきっかけになった。
- ・ワイヤレスマイクの干渉等の話は大変役に立つと思いました。なかなか触る事のない技術についてとても為になります。又、実際に体験し、目に見える形で理解することができた。
- ・ホールの安全に関しては毎回考えさせられます。もちかえって色々と考えたいと思います。
- ・今回の研修は初めての知識になるもので、大変勉強になりました。これから先も舞台に関する研修講習を行って頂ければとても助かります。
- ・ワイヤレスインカム、ワイヤレスマイクのセミナーは資料もただけて後に残るので良かった。説明もスムーズでわかりやすかった。
- ・技術の方がほとんどだと思っていましたが、そうでない方が参加しても参考になる内容だと思いました。

# 地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント・舞台技術研修会

---

## 事業の目的

劇場・音楽堂等の活性化、地域の文化芸術の振興等を目的としたアートマネジメントや劇場・音楽堂等の舞台技術を統括管理するために必要な専門的知識・技術の取得に関する研修会を実施し、専門性の向上と劇場・音楽堂等の活性化を図る。

- ①アートマネジメント研修会各地域において、劇場・音楽堂等の優れた自主事業等を企画する能力、管理運営能力の養成を図るため、劇場・音楽堂等の職員等を対象とした研修会を実施する。
- ②舞台技術研修会各地域において、劇場・音楽堂等の舞台技術を統括管理するために必要な専門的知識や技術の習得を図るため、舞台技術者を対象とした舞台技術研修会を実施する。

## 対象者

- ①劇場・音楽堂等に勤務する職員（指定管理者及び劇場・音楽堂等の管理・運営業務等を受託している企業等からの派遣職員も含む）
- ②地方自治体の文化芸術行政担当職員及び劇場・音楽堂等施設関係者
- ③民間の舞台技術関係者、大学等の高等教育機関・舞台技術やアートマネジメントの教育関係者・学生等、また関心のある市民等。

## 実施日数

原則1日以上

## 実施一覧

### 地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会

地域名	開催日	会場	参加者数
北海道	令和4年11月24日(木)	北見芸術文化ホール	22名 12施設
東北	令和4年11月16日(水)～17日(木)	奥州市文化会館(Zホール)	58名 33施設
関東甲信越静	令和4年12月15日(木)	栃木県総合文化センター	174名 94施設
東海北陸	令和4年10月6日(木)～7日(金)	三重県総合文化センター	61名 32施設
近畿※	令和5年2月8日(水)～9日(木)	兵庫県立芸術文化センター	35名 21施設
中四国	令和4年12月15日(木)～16日(金)	JMSアステールプラザ	63名 39施設
九州	令和4年9月29日(木)～30日(金)	メディキット県民文化センター (宮崎県立芸術劇場)	45名 25施設

### 地域別劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会

地域名	開催日	会場	参加者数
北海道	令和4年11月9日(水)～10日(木)	あさひサンライズホール	14名 9施設
東北	令和5年3月9日(木)	[オンライン開催] あきた芸術劇場(ミルハス)	46名 26施設
関東甲信越静	令和5年2月2日(木)	埼玉会館	79名 54施設
東海北陸	令和5年1月26日(木)～27日(金)	石川県こまつ芸術劇場うらら	34名 18施設
近畿※	令和5年2月8日(水)～9日(木)	兵庫県立芸術文化センター	-名 -施設
中四国	令和5年1月19日(木)～20日(金)	鳥取県立倉吉未来中心	54名 24施設
九州	令和4年12月8日(木)～9日(金)	石橋文化センター	39名 20施設

※アートマネジメント・舞台技術合同研修会



## 地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会 北海道

### 実施要項

事業名	地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会（北海道地域）
趣旨	劇場・音楽堂等の職員を対象として、施設の管理運営を行う上で直面している課題やアートマネジメントに関する専門的な研修を行うことにより地域の文化芸術の振興と劇場・音楽堂等の活性化に資する。
開催期間	令和4年11月24日（木）
会場	北見芸術文化ホール
問合せ先 (事務局担当施設)	(一財)道民活動振興センター
参加人数	22名（参加施設12施設）

### 研修内容

	日時	内容	講師等
11/24 (木)	12:30～13:15	受付	
	13:15～13:30	開講式	
	13:30～16:30	講義Ⅰ 組織・事業の管理運営 ・「おかやま文化芸術アソシエイツ」の概要と、地方の文化芸術関係者が抱える課題について ・「おかやま文化芸術アソシエイツ」実践事例について	(公社)岡山県文化連盟 高田 佳奈氏
	16:30～16:45	閉講式	

## 地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会 東北

### 実施要項

事業名	地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会（東北地域）
趣旨	劇場・音楽堂等の職員を対象として、アートマネジメントに関する専門的な研修を行うことにより地域の文化芸術の振興と劇場・音楽堂等の活性化に資する。
開催期間	令和4年11月16日（水）～11月17日（木）
会場	奥州市文化会館（Zホール）
問合せ先 (事務局担当施設)	岩手県民会館
参加人数	58名（参加施設33施設）

### 研修内容

	日時	内容	講師等
11/16 (水)	13:00～13:30	受付	
	13:30～13:35	開講式	
	13:35～15:00	講義Ⅰ 『1万人のゴールドシアターの取り組み』	(公財)板橋区文化・国際交流財団 木全 義男氏
	15:00～15:15	休憩	
	15:15～17:15	『奥州市4館における市民劇の取り組み』 事例発表 事例A：奥州前沢劇場の取り組み 事例B：奥州胆沢劇場の取り組み 事例C：奥州市民文士劇の取り組み 事例D：奥州市民劇の取り組み	前沢ふれあいセンター 館長 阿部 利幸氏 胆沢文化創造センター 館長 岩淵 栄子氏 江刺体育文化会館 館長 高野 誠司氏 奥州市文化会館 館長 鈴木 美喜子氏
11/17 (木)	9:00～9:30	受付	
	9:30～11:30	講師による感想→パネルディスカッション →質疑応答	木全 義男氏 阿部 利幸氏 岩淵 栄子氏 高野 誠司氏 鈴木 美喜子氏
	11:30～11:55	施設見学	
	11:55～12:00	閉講式	

## 地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会 関東甲信越静

### 実施要項

事業名	地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会（関東甲信越静地域）
趣旨	劇場・音楽堂等の職員を対象として、施設の管理運営を行う上で直面している課題やアートマネジメントに関する専門的な研修を行うことにより地域の文化芸術の振興と劇場・音楽堂等の活性化に資する。
開催期間	令和4年12月15日（木）
会場	栃木県総合文化センター
問合せ先 (事務局担当施設)	栃木県総合文化センター
参加人数	174名（参加施設94施設）

### 研修内容

日時		内容	講師等
12/15 (木)	13:00～13:30	受付	
	13:30～13:40	開講式	
	13:40～14:50	講義Ⅰ 人材養成講座「施設運営とは」 ～安全・安心な施設運営を目指す～	MS & AD インターリスク総研（株） リスクマネジメント第一部 リスクエンジニアリング第2グループ長 （公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター 本間 基照氏
	14:50～15:05	休憩	
	15:05～16:15	講義Ⅱ 人材養成講座「劇場・ホールの事業とは」 ～感染症対策を踏まえた事業企画運営～	（公財）藤沢市みらい創造財団評議委員 （公社）全国公立文化施設協会 名誉アドバイザー 間瀬 勝一氏
	16:15	閉講式	

## 地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会 東海北陸

### 実施要項

事業名	地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会（東海北陸地域）
趣旨	劇場・音楽堂等の活性化、地域の文化芸術の振興等を目的としたアートマネジメントや劇場・音楽堂等の舞台技術を統括管理するために必要な専門知識・技術の取得に関する研修会を実施し、専門性の向上と劇場・音楽堂等の活性化を図る。アートマネジメント研修会については、各地域において、劇場・音楽堂等の優れた自主事業等を企画する能力、管理運営能力の養成を図るため、劇場・音楽堂等の職員等を対象とした研修会を実施する。
開催期間	令和4年10月6日（木）～10月7日（金）
会場	三重県総合文化センター 男女共同参画センター（フレンテみえ）
問合せ先 (事務局担当施設)	愛知県芸術劇場
参加人数	61名（参加施設32施設）

### 研修内容

日時		内容	講師等
10/6 (木)	12:30～13:00	受付	
	13:00～13:15	開講式	
	13:15～14:30	研修会Ⅰ 講演「共に生きる社会のための芸術文化」	九州大学社会包摂デザイン・イニシアティブ准教授 長津 結一郎氏
10/7 (金)	9:30～10:00	受付	
	10:00～11:15	研修会Ⅳ 講演「公立文化施設で必要とされる契約」	シティライツ法律事務所 弁護士 水野 祐氏
	11:30～11:45	閉講式	

## 地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント・舞台技術研修会 近畿

### 実施要項

事業名	地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント・舞台技術研修会（近畿地域）
趣旨	近畿地域の公立文化施設の職員等を対象として、アートマネジメント能力と技術能力の向上に関する専門的な研修を行い、地域の文化芸術の振興と公立文化施設の活性化に資することを目的とする。
開催期間	令和5年2月8日（水）～2月9日（木）
会場	兵庫県立芸術文化センター
問合せ先 (事務局担当施設)	奈良県橿原文化会館
参加人数	35名（参加施設 21 施設）

### 研修内容

日時		内容	講師等
2/8 (水)	13:00～13:30	受付	
	13:30～13:40	開会	
	13:40～14:40	講義1 舞台の安全管理について	日本舞台監督理事長 小川 幹雄氏
	14:40～14:55	休憩	
	14:55～16:25	講義2 貸館の受付・打合せ時から始まる舞台の安全管理	小川 幹雄氏 全文協近畿支部アドバイザー 山形 裕久氏
2/9 (木)	10:00～10:30	受付	
	10:30～12:00	講義3 音楽事業の企画・制作について①	舞台衣装デザイナー 西宮市プレラホール館長 松田 優氏 小川 幹雄氏 山形 裕久氏
	12:00～13:00	休憩	
	13:00～14:30	講義4 音楽事業の企画・制作について②	松田 優氏 小川 幹雄氏 山形 裕久氏 ユーキャン・エンターテインメント事業部 音楽ディレクター 渡辺 寿雄氏
	14:30～14:40	休憩	
	14:40～16:10	講義5 クロマチックハーモニカ&ギター演奏	南 里沙氏 (クロマチックハーモニカ) 渡辺 具義氏 (ギター)
	16:10～16:20	閉会	

## 地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会 中四国

### 実施要項

事業名	地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会（中四国地域）
趣旨	劇場・音楽堂等の職員を対象として、アートマネジメントに関する専門的な研修を行うことにより地域の文化芸術の振興と劇場・音楽堂等の活性化に資する。
開催期間	令和4年12月15日（木）～12月16日（金）
会場	JMS アステールプラザ
問合せ先 (事務局担当施設)	JMS アステールプラザ
参加人数	63名（参加施設39施設）

### 研修内容

	日時	内容	講師等
12/15 (木)	13:30～14:00	受付	
	14:00～14:10	開講式	
	14:10～15:40	講義Ⅰ 【講演】「with コロナに向けての公立劇場運営～地域連携と文化の復興～」	(株)ニッセイ基礎研究所主任研究員 大澤 寅雄氏
		休憩	
	16:00～17:30	講義Ⅱ 【対談】「芸術文化を中心としたまちづくり～長野、豊岡の事例を参考に～」	信州アーツカウンシル((一財)長野県文化振興事業団) ゼネラル・コーディネーター 野村 政之氏 芸術文化観光専門職大学助教 豊岡演劇祭プロデューサー 河村 竜也氏
12/16 (金)	9:00～9:30	受付	
	9:30～11:45	講義Ⅲ 【座談会】「地方の公立劇場で演劇事業をするということ～アステールプラザの演劇事業を題材に～」	セノグラファー/芸術文化観光専門職大学准教授 杉山 至氏 河村 竜也氏 劇作家 演出家 福名 理穂氏 (公財)広島市文化財団アステールプラザ主幹 神明 恒彦氏
	11:45	閉講式	

## 地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会 九州

### 実施要項

事業名	地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会（九州地域）
趣旨	劇場・音楽堂等の職員を対象として、アートマネジメントに関する専門的な研修を行うことにより地域の文化芸術の振興と劇場・音楽堂等の活性化に資する。 劇場・音楽堂等の職員を対象として、施設の管理運営を行う上で直面している課題について専門的な研修を行うことにより地域の文化芸術の振興と劇場・音楽堂等の活性化に資する。
開催期間	令和4年9月29日（木）～9月30日（金）
会場	メディキット県民文化センター（宮崎県立芸術劇場）
問合せ先 (事務局担当施設)	那覇市パレット市民劇場
参加人数	45名（参加施設25施設）

### 研修内容

	日時	内容	講師等
9/29 (木)	12:30～13:00	受付	
	13:00～13:10	開講式	
	13:10～14:20	講義Ⅰ シリーズ講義『文化』を超える文化施設① 「社会包摂 これまで これから」	公立大学法人沖縄県立芸術大学 音楽学部 沖縄文化コース 教授 谷本 裕氏
	14:20～14:30	休憩	
	14:30～15:40	講義Ⅱ シリーズ講義『文化』を超える文化施設② それぞれの「社会的包摂」—「敷居の低い 音楽堂」と「バリアフリー能」	横浜市芸術文化振興財団 横浜音楽堂 芸術監督 中村 雅之氏
	15:40～15:50	休憩	
	15:50～17:00	講義Ⅲ シリーズ講義『文化』を超える文化施設③ お芝居は、「春」取り戻す特效薬 鮮烈デビュー！上越シニア劇団の挑戦	上越文化会館 館長 斉藤 美代子氏
9/30 (金)	9:00～9:20	受付	
	9:20～10:30	講義Ⅳ シリーズ講義『文化』を超える文化施設④ もっともっと、面白く。 ナンバーワン公民館の、ひと・工夫	那覇市若狭公民館 指定管理者 NPO 法人地域サポートわかさ 館長 宮城 潤氏
	10:30～10:40	休憩	
	10:40～11:50	トークセッション スマホ必携 客席巻き込むパネル討論「制度」よりも大 切なこと プロデューサー 社会の見方・考え方	パネリスト 中村 雅之氏 齋藤 美代子氏 宮城 潤氏 司会進行 谷本 裕氏
	11:50～12:00	閉講式	

## 地域別劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会 北海道

### 実施要項

事業名	地域別劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会（北海道）
趣旨	劇場・音楽堂の舞台技術等を管理、運営している職員を対象とし、舞台技術に関する専門的な研修を行うことにより地域の文化芸術の振興と劇場・音楽堂等の活性化に資する。
開催期間	令和4年11月9日（水）～11月10日（木）
会場	あさひサンライズホール
問合せ先 (事務局担当施設)	(一財)道民活動振興センター
参加人数	14名（参加施設9施設）

### 研修内容

日時		内容	講師等
11/9 (水)	12:30～13:15	受付	
	13:15～13:30	開講式	
	13:30～17:30	講義Ⅰ コンサートミキシングとメモレコーディングの実際①	ステージマインド（株） 代表 梶野 泰範氏 フリーランスエンジニア 金沢 琢司氏 出演アーティスト 高野 雅絵氏（ボーカル） 町田 拓哉氏（ギター） 山下 ヤスシ氏（ピアノ）
11/10 (木)	8:30～9:00	受付	
	9:00～11:30	講義Ⅱ コンサートミキシングとメモレコーディングの実際②	梶野 泰範氏 金沢 琢司氏 高野 雅絵氏 町田 拓哉氏 山下 ヤスシ氏
	11:30～11:45	閉講式	



## 地域別劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会 東北

### 実施要項

事業名	地域別劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会（東北地域）
趣旨	劇場・音楽堂の舞台技術等を管理、運営している職員を対象とし、舞台技術に関する専門的な研修を行うことにより地域の文化芸術の振興と劇場・音楽堂等の活性化に資する。
開催期間	令和5年3月9日（木）
会場	[オンライン] あきた芸術劇場ミルハス
問合せ先 (事務局担当施設)	あきた芸術劇場ミルハス
参加人数	46名（参加施設 26 施設）

### 研修内容

	日時	内容	講師等
3/9 (木)	13:30～13:32	開講式	
	13:32～15:00	1. 岡山芸術創造劇場ハレノワについて 2. 舞台の安全管理について	岡山芸術創造劇場 技術グループ テクニカル・ディレクター 尾中 孝次氏

## 地域別劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会 関東甲信越静

### 実施要項

事業名	地域別劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会（関東甲信越静地域）
趣旨	劇場・音楽堂の舞台技術等を管理、運営している職員を対象とし、舞台技術に関する専門的な研修を行うことにより地域の文化芸術の振興と劇場・音楽堂等の活性化に資する。
開催期間	令和5年2月2日（木）
会場	埼玉会館
問合せ先 (事務局担当施設)	彩の国さいたま芸術劇場
参加人数	79名（参加施設54施設）

### 研修内容

日時	内容	講師等
2/2 (木)	13:30～14:30 講義Ⅰ LED機材の普及による、ハイブリッド電源システムの可能性について	東芝ライテック（株） 技術本部 制御システム技術部 制御技術第二担当 越野 征史氏
	14:40～15:40 講義Ⅱ LED化に対応するための照明ネットワーク	ウシオライティング（株） エンタテインメント事業部 機器営業部東京機器営業課 植月 成美氏
	15:50～17:20 パネルディスカッション 最新LED客電のデモンストレーション及び、LED機材に関する各社の取り組み	パネリスト： 植月 成美氏 東芝ライテック（株）尾崎 美雪氏 パナソニック（株）役野 善道氏 （株）松村電機製作所 三浦 正幸氏 丸茂電機（株）関根 伸也氏 司会： 彩の国さいたま芸術劇場 菅沼 翔太氏

## 地域別劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会 東海北陸

### 実施要項

事業名	地域別劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会（東海北陸地域）
趣旨	劇場・音楽堂等の職員を対象として、舞台技術に関する専門的な研修を行うことにより地域の文化芸術の振興と劇場・音楽堂等の活性化に資する。
開催期間	令和5年1月26日（木）～1月27日（金）
会場	石川県こまつ芸術劇場うらら
問合せ先 (事務局担当施設)	愛知県芸術劇場
参加人数	34名（参加施設18施設）

### 研修内容

日時		内容	講師等
1/26 (木)	13:00～13:20	受付	
	13:20～13:30	開講式	
	13:30～15:00	講演 「ハイブリッド会議のシステム構成について」	(株)オトムラ 横山 智輝氏
1/27 (金)	10:00～10:30	受付	
	10:30～11:30	実技Ⅰ 「ハイブリッド会議の設営・実施」	(株)オトムラ テクニカルチーフマネージャー
	11:30～12:30	休憩	新甫 善文氏
	12:30～14:30	実技Ⅱ 「ハイブリッド会議の設営・実施」	横山 智輝氏
	15:00～15:15	閉講式	
	15:15～15:45	施設見学会	

## 地域別劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会 中四国

### 実施要項

事業名	地域別劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会（中四国地域）
趣旨	劇場・音楽堂の舞台技術等を管理、運営している職員を対象とし、舞台技術に関する専門的な研修を行うことにより地域の文化芸術の振興と劇場・音楽堂等の活性化に資する。
開催期間	令和5年1月19日（木）～1月20日（金）
会場	鳥取県立倉吉未来中心
問合せ先 (事務局担当施設)	鳥取県立倉吉未来中心
参加人数	54名（参加施設24施設）

### 研修内容

日時	内容	講師等	
1/19 (木)	13:00～13:30	受付	
	13:30～13:40	開講式	
	13:40～15:00	プログラムⅠ 「劇場・音楽堂における改修計画について」 ～持続可能なホールの管理計画～	空間創造研究所 取締役 (公社)全国公立文化施設協会 アドバイザー 草加 叔也氏
		休憩	
	15:10～16:00	プログラムⅡ 「倉吉未来中心の大規模改修工事について」	鳥取県総務部営繕課 課長 下田 悟氏 参事 山下 哲也氏
		休憩	
	16:10～17:00	プログラムⅢ 「最新の舞台機構設備がもたらすもの」	久留米シティプラザ舞台技術課 向窪 誠氏
1/20 (金)	9:00～9:30	受付	
	9:30～10:30	プログラムⅣ 「劇場・音楽堂における安全管理について」	兵庫県芸術文化センター 舞台技術部 部長 関谷 潔司氏
		休憩	
	10:40～11:50	施設見学 協力：(株)サンケン・エンジニアリング パナソニック EW エンジニアリング (株)	案内：倉吉未来中心舞台技術室
	11:50～12:00	閉講式	

## 地域別劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会 九州

### 実施要項

事業名	地域別劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会（九州地域）
趣旨	劇場・音楽堂の舞台技術等を管理、運営している職員を対象とし、舞台技術に関する専門的な研修を行うことにより地域の文化芸術の振興と劇場・音楽堂等の活性化に資する。
開催期間	令和4年12月8日（木）～12月9日（金）
会場	石橋文化センター
問合せ先 （事務局担当施設）	熊本県立劇場
参加人数	39名（参加施設20施設）

### 研修内容

日時		内容	講師等
	13:30～13:40	開講式	
	13:40～17:40	プログラム1 高所作業と安全管理	世田谷パブリックシアター 技術部長 熊谷 明人氏
12/9 (金)	9:30～10:35	プログラム2 安全管理について各館の課題を共有する	熊谷 明人氏 北九州芸術劇場 テクニカルディレクター 中村 国寿氏
	10:35～10:45	休憩	
	10:45～11:45	プログラム3 舞台技術を担う組織体制を考える	中村 国寿氏
	11:45	閉講式	



## IV 参考資料

基盤整備事業一覧

支援員の派遣による支援募集要項

「劇場・音楽堂等の活動状況に関する調査」調査票

全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会募集要項

全国劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会募集要項

## 令和4年度文化庁委託事業「劇場・音楽堂等基盤整備事業」

事業			概要	
I 情報提供事業	(1) 芸術文化情報提供事業	①劇場・音楽堂等及び我が国の文化芸術の振興に関する情報、資料の収集提供	(a) 資料等の収集・提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・劇場・音楽堂等や文化芸術に関する情報、資料を収集し、これまでに蓄積した情報とともに体系的に整理して、わかりやすい内容や方法で希望者に提供する</li> <li>・ホームページでの情報提供</li> <li>・メールマガジンの発行</li> </ul>
			(b) 専門人材（コーディネーター）の活用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各分野の専門人材に登録を依頼し、ホームページに公開（継続登録の人材についても、情報内容の更新を行う）</li> </ul>
			②劇場・音楽堂等への芸術文化活動支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>(a) 支援員の派遣による支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主事業の企画・実施、施設の管理・運営等に関する指導助言を行う専門家を派遣</li> <li>・派遣方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>①館派遣型</li> <li>②地域派遣型</li> </ul> </li> <li>・派遣回数：1団体3回まで</li> </ul> </li> <li>(b) 日常相談業務対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・電話、メール、FAX等による相談受付</li> <li>・来所による相談受付</li> <li>・主な相談内容を「よくある相談」としてホームページに掲載</li> </ul> </li> </ul>
		(2) 劇場・音楽堂等の機能強化に関する調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律（平成24年法律第49号）」施行以降の劇場・音楽堂等の取組や課題等を踏まえ、さらなる劇場、音楽堂等の機能強化に関する調査・分析を行い、今後の劇場、音楽堂等の振興に係る諸施策に資する。</li> </ul>	



実施状況	委員等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報プラザの拡充</li> <li>・全国公立文化施設検索の充実 等</li> <li>・劇場・音楽堂等 個別施設計画策定推進サポート事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>オンラインセミナー R4.8.4～R5.1.31 3件</li> <li>個別相談会 R4.8.15～R5.2.16</li> </ul> </li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間アクセス数 801,921 件 (R5.2.24 現在)</li> <li>・主な掲載内容 FAQ、研修会等の開催案内、助成金情報、文化政策・制度 文化施設検索</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 128 号 (R4.4.15)～第 139 号 (R5.3.15)</li> <li>・臨時号 (R4.4.21,11.10,12.12,R5.1.31)</li> <li>・発送数：5,000 通 /1 回 (平均)</li> <li>・主な掲載内容 研修会開催案内、国等の文化芸術施策に関する情報、助成金情報、調査研究報告、コラム等</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・登録者数：アドバイザー 9 名 コーディネーター 64 名</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・募集期間：R4.4.15～5.6</li> <li>・実施期間：R4.6.1～R5.1.15</li> <li>・審査会：R4.5.19</li> <li>・申込件数：47 件 71 回</li> <li>・派遣決定件数：46 件 72 回</li> <li>・実施件数：46 件 72 回</li> <li>・派遣支援員数：36 名</li> </ul>	<p>審査会委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・太下義之((公社)全国公立文化施設協会 アドバイザー)</li> <li>・酒井誠((公社)全国公立文化施設協会 名誉アドバイザー)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施期間：R4.4.1～R5.3.31</li> <li>・相談対応件数：71 件 (R5.2.28 現在) 来所による相談 1 件 電話・FAX・電子メールによる相談 70 件</li> </ul>	<p>相談対応者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(公社)全国公立文化施設協会事務局</li> <li>・(公社)全国公立文化施設協会アドバイザー・コーディネーター</li> <li>・各種専門家、団体、等</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>①コンセプション事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・参考資料の作成</li> <li>・情報提供用ホームページの作成</li> <li>・解説動画の作成</li> </ul> </li> <li>②テーマ：劇場・音楽堂等の活動状況に関する調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査項目：1. 施設の基本情報</li> <li>2. 職員の状況</li> <li>3. 施設利用実績・収支</li> <li>4. 事業実施状況</li> <li>5. その他の活動等</li> </ul> </li> <li>・調査期間：R4.10.13～11.17</li> <li>・調査対象：国公立施設 2,128 施設</li> <li>・回答数 (回答率)：1,248 施設 (58.6%)</li> <li>・報告書発行：R5.3</li> </ul>	

事業		概要
Ⅱ 研修・交流事業	①全国アートマネジメント研修会	・アートマネジメントと舞台技術に関する専門的研修を体系的に実施することにより、専門性の向上と劇場・音楽堂等の活性化を支援
	②全国舞台技術研修会	・劇場・音楽堂等の活性化、地域の文化芸術の振興を目的とした舞台技術を統括管理するために必要な専門的知識・技術の獲得に関する研修会を実施し、専門性の向上と劇場・音楽堂等の活性化を支援する。
	①地域別アートマネジメント研修会	・劇場・音楽堂等の企画力、創造力、運営能力、技術の強化や、職員の自発的な研鑽と自己啓発を促すため、若手職員等を対象とした研修会を行う。また、地域職員の交流を深め、相互のネットワーク形成及び情報交換の場とする
	②地域別舞台技術研修会	
Ⅲ 事業評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ I 及びⅡの事業評価を行う</li> <li>・ 自己評価及び外部評価委員を委嘱し、評価を行う</li> </ul>

実施状況	委員等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画会議：第1回 R4.5.31 第2回 R4.7.8</li> <li>・開催期間：R5.1.17～2.28 ワークショップ：R5.1.18～20 ライブ配信：R5.1.24～26</li> <li>・収録：R4.11.18、29（品川動画配信スタジオ） R4.11.29（新国立劇場）</li> <li>・プログラム数：12 オンデマンドプログラム：3プログラム 特別プログラム：吉田都「劇場とともに日本の劇場にも とめられること」ほか ライブ配信プログラム：6プログラム ワークショッププログラム：3プログラム</li> <li>・視聴申込者数：1,398名</li> <li>・視聴回数（延べ）：6,309回</li> <li>・ワークショップ参加者：37名</li> </ul>	<p>企画委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大久保充代（（公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター）</li> <li>・草加叔也（（公社）全国公立文化施設協会 アドバイザー）</li> <li>・柴田英杞（（公社）全国公立文化施設協会 アドバイザー）</li> <li>・水戸雅彦（（公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター）</li> </ul> <p>モデレーター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石田麻子（（公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター）</li> <li>・大久保充代（（公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター）</li> <li>・小野木豊昭（（公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター）</li> <li>・草加叔也（（公社）全国公立文化施設協会 アドバイザー）</li> <li>・柴田英杞（（公社）全国公立文化施設協会 アドバイザー）</li> <li>・神保富美子（（公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター）</li> <li>・竹内淳（（公社）日本オーケストラ連盟 常務理事・事務局長）</li> <li>・廣川麻子（（公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター）</li> <li>・水戸雅彦（（公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催期間：R5.1.11～12</li> <li>・会場：札幌文化芸術劇場 hitaru</li> <li>・プログラム プログラム1：ワイヤレスインカム・Wi-Fi基礎とその仕組みを学ぶ プログラム2：ワイヤレスマイク（A帯、B帯）基礎とその仕を学ぶ プログラム3：携帯抑止装置（携帯電話）基礎とその仕組みを学ぶ プログラム4：システム説明・質疑応答及び12日の実験に向けて プログラム5：3社による合同の検証実験 プログラム6：保守点検と改修工事「説明する」ということ プログラム7：関係法令 高所作業など</li> <li>・参加者数：100名</li> </ul>	<p>モデレーター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伊藤久幸（（公社）全国公立文化施設協会 アドバイザー）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国7地域で開催</li> <li>・開催期間：R4.9～R5.2</li> <li>・実施地域・日程・会場・参加者数 北海道：R4.11.24 北見芸術文化ホール 22名 東北：R4.11.16～17 奥州市文化会館 58名 関東甲信越静：R4.12.15 栃木県総合文化センター 174名 東海北陸：R4.10.6～7 三重県総合文化センター 61名 近畿：R5.2.8～9 兵庫県立芸術文化センター 35名 中四国：R4.12.15～16 JMS アステールプラザ 63名 九州：R4.9.29～30 メディキット県民文化センター 45名</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国7地域で開催</li> <li>・開催期間：R4.11～R5.3</li> <li>・実施地域・日程・会場・参加者数 北海道：R4.11.9～10 あさひサンライズホール 14名 東北：R5.3.9 オンライン開催 あきた芸術劇場（ミルハス）46名 関東甲信越静：R5.2.2 埼玉会館 79名 東海北陸：R5.1.26～27 石川県こまつ芸術劇場うらら 34名 近畿：R5.2.8～9 兵庫県立芸術文化センター 35名 ※アートマネジメント研修会と合同開催 中四国：R5.1.19～20 鳥取県立倉吉未来中心 54名 九州：R4.12.8～9 石橋文化センター 39名</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業評価委員会 第1回：R4.9.2 第2回：R5.3.16</li> </ul>	<p>事業評価委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・荻原康子（上田市交流文化芸術センター総合 プロデューサー）</li> <li>・松本茂章（（公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター）</li> <li>・米屋尚子（（公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター）</li> <li>・渡辺日佐夫（（公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター）</li> </ul>



**令和 4 年度文化庁委託事業**  
**「劇場・音楽堂等への芸術文化活動支援 支援員の派遣による支援」**  
**募集要項**

**1 主催**

文化庁・公益社団法人全国公立文化施設協会

**2 目的**

劇場・音楽堂等において、実演芸術に関する活動や、劇場・音楽堂等の事業が自主的・主体的に行われるよう、自主事業の企画・実施、施設の管理・運営等に関する指導助言を行う専門家（以下、「支援員等」という）を派遣し、企画・運営力等の向上を図ることを目的とする。

**3 支援内容**

- ・支援内容（テーマ）は、下記「支援員等の業務」（1）～（10）に該当するものとなります。具体的内容は申込書（様式 2）をご覧ください。
- ・申込者毎に各施設等の課題に対応し優先度の高い支援内容（テーマ）の項目を原則として 1 つに絞ってお申込みください。申込書（様式 1）に記載いただいた支援内容（テーマ）を審査会で検討し決定いたしますので、様式 1（1）～（3）の設問に具体的に記入をしてください。

- (1) 運営方針等に関する指導助言
- (2) 年間事業計画に関する指導助言
- (3) 個別の自主企画事業の企画制作に関する指導助言
- (4) 中期計画（3 か年程度）の企画立案に関する指導助言
- (5) 劇場・音楽堂等が行う芸術文化活動（創作活動）の企画制作に関する指導助言
- (6) 施設の管理・運営に関する指導助言
- (7) 施設の修繕・改修計画（個別施設計画等）の企画立案に関する指導助言
- (8) 劇場・音楽堂等の新設に関する指導助言（基本構想立案段階でも可）
- (9) 多言語対応、バリアフリーに関する指導助言
- (10) その他劇場・音楽堂等の活性化につながる指導助言

※なお、新型コロナウイルスに関連した感染症対策については、支援対象外とします。何卒ご了承ください。

基本的事項については、公文協ホームページ「新型コロナウイルス文化芸術関係情報」及び「劇場・音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」をご参照ください。

●劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン

[https://www.zenkoubun.jp/covid\\_19/files/0918covid\\_19.pdf](https://www.zenkoubun.jp/covid_19/files/0918covid_19.pdf)

●新型コロナウイルス文化芸術関係情報

[https://www.zenkoubun.jp/covid\\_19/index.html](https://www.zenkoubun.jp/covid_19/index.html)

#### 4 派遣する支援員等

- ・ 劇場・音楽堂等の活動の活性化に資する文化政策、舞台芸術、管理運営、事業企画、舞台技術、施設改修等の分野に関する有識者又は専門家を派遣します。
- ・ 原則として、申込者毎に1名の派遣とします。様式1「希望支援員氏名」欄には1名のみ記載してください。審査会で支援内容により複数の支援員の派遣が望ましいと判断された場合は、複数の支援員を派遣いたします。
- ・ 同じ支援員は、同じ施設等に連続して2年まで派遣が可能です。  
令和2年度、令和3年度に連続して派遣した支援員は今年度派遣できません。

#### 5 派遣の種類

- ①館派遣型：1施設を対象に派遣をします。
- ②地域派遣型：複数施設に対しての支援を行います（同一市内、同一県内の複数施設の支援、同一管理者の施設等）。代表施設、連絡担当者を決めてお申込みください。

#### 6 派遣回数、時間

年間最大3回までとし、1回の支援時間は概ね4時間程度とします。

#### 7 実施規模

延70回程度

#### 8 実施期間

令和4年6月1日（水）～令和5年1月15日（日）

#### 9 申込者

施設等の設置者、運営者（指定管理者等）

※ 平成31年度から令和3年度まで3年連続し当事業で支援員の派遣を行った施設等（申込団体が設置者、管理者の双方を含む）は今年度の支援の対象となりません。

#### 10 申込期間

令和4年4月15日（金）～令和4年5月6日（金）

#### 11 申込方法






- (1) 申込書（様式1、2）を全国公文協ホームページよりダウンロードしてください。
- (2) 申込書（様式1、2）に内容を記入し、メール（pdfファイル）でお送りください。  
メールで申込みができない場合は、4ページ記載の申込先・問合せ先までご連絡ください。

※ 申込後、担当者より希望内容について確認のご連絡をする場合があります。

## 12 審査会

- ・学識経験者等による審査会を開催し派遣先、支援内容、実施回数等を決定します。
- ・審査会での審査により、ご希望頂いた回数の派遣や派遣そのものがない場合があります。

## 13 申込から実施までの流れ

- ・申込期間 令和4年4月15日(金)～令和4年5月6日(金)  
※ホームページより申込書(様式1、2)をダウンロードし、メール(pdfファイル)でお送りください。  

- ・審査会 令和4年5月中旬(予定)  
※申込者の出席は不要です  

- ・審査結果通知 令和4年5月下旬(予定)  
※郵送又はメールにより、支援員名、実施回数、実施内容等を通知します。  

- ・支援員等との日程調整、打合せ等 決定通知が届き次第、支援員等に連絡の上、日程、支援内容の詳細等を調整してください。  
※原則申込者が支援員等へ直接連絡し、日程等調整をして頂きます。  

- ・事業計画書提出 事業実施1か月前を目途にご提出ください。  
(pdfファイル又は郵送)  

- ・支援事業実施 令和4年6月1日(水)～令和5年1月15日(日)
  - ①旅費請求書提出 ・各支援実施2週間前迄に、ご提出ください。  
(pdfファイル又は郵送)
  - ②謝金申請書提出 ・支援員事業がすべて終了後、1週間以内に、ご提出ください。
  - ③報告書提出 ・支援員事業終了後2週間以内に、ご提出ください。

## 14 支援員の希望について

- (1) 支援員の派遣希望がある場合
  - ・特定の支援員等を希望する場合は、申込用紙に当該支援員等への連絡の有無をご記入ください。
- (2) 特定の支援員等の派遣希望がない場合
  - ・公文協ホームページ内「専門人材情報」をご活用ください(ただし、選んでいただいた方を、必ずしも派遣できるわけではありません。ご了承ください)。  
専門人材情報 <https://www.zenkoubun.jp/jinzai/index.html>
  - ・特定の支援員のご希望がない場合は、申込書、希望支援員の氏名欄に「マッチング希望」と記入してください。審査会にて希望分野の支援員等を申込者に提案します。

## 15 支援の対象とならない事例

- (1) 施設等の従事者の研修以外で、一般向けに行う研修・講演・シンポジウム・ワークショップの講師を依頼すること。
- (2) 公演の練習等で実技指導に従事させること。
- (3) 既に実施又は決定している施設等の事業への従事者・アドバイザー・実行委員会委員等に支援員等を充てること。
- (4) 施設等の自主企画事業・公演等の企画運営に関わる製作関係者等を支援員等に希望すること。
- (5) 平成 31 年度から令和 3 年度まで 3 年連続し当事業で支援員の派遣を行った施設等（申込団体が設置者、管理者の双方を含む）。

但し、令和 3 年度に本事業の採択があった施設等において、新型コロナウイルス感染症の影響によりやむを得ず実施中止等をした施設等については、上記に限らず、申込をすることができる。

## 16 新型コロナウイルスの感染症に伴う実施の方法について

今後の新型コロナウイルスの感染状況によっては、支援員の派遣が決定回数通りに実施できない可能性があります。その場合、実施方法（例 オンラインによる実施、等）は、申込者と事務局で協議の上決定します。

## 17 謝金等

謝金及び旅費については、全国公文協が規程により直接支援員等に対し支払います。

原則、申込者の立替等はありません。

ただし、規定以外の現地交通費、連絡費その他の経費が必要になった場合は、申込者に負担していただきます。

## 18 申込先・問合せ先

◇一部職員の在宅勤務等を実施しておりますため、可能な限りメールでのご連絡を頂けますよう、ご協力をお願い致します。

公益社団法人全国公立文化施設協会

〒104-0061 東京都中央区銀座 2-10-18 東京都中小企業会館 4 階

電話 03-5565-3030 FAX 03-5565-3050

E-MAIL culture@zenkoubun.jp

担当：岸・菅生・嘉山

本調査は、今後の劇場、音楽堂等に対する支援施策の企画立案に必要な情報を収集するために、『文化庁』が実施するものです

### ブロック1 施設の基本情報

#### 1.本調査票の回答者【所属機関・団体名以外必須】

氏名	氏名ふりがな	
所在地	〒	
連絡先電話番号		
メールアドレス		
所属機関・団体名		
部署・職名		

#### 2.施設名称・住所【必須】

所在地			
施設ID		施設名	

#### 3.設置者について【必須】

1. 独立行政法人	2. 都道府県【都道府県名：】
3. 政令指定都市【政令指定都市名：】	4. 市町村/特別区【市町村/特別区名：】
5. 一部事務組合/広域連合【団体名：】	6. その他【団体名：】

#### 4.指定管理者制度の導入状況について【管理運営形態必須、指定管理者 補問1～6 必須】

管理運営形態	1. 指定管理者 ⇒ 補問1～6へ	2. 直営 ⇒ 質問5へ	3. その他 ⇒ 質問5へ
補問1 現在の指定管理者の名称			
補問2 現在の指定管理者の種別	1. 公益財団法人                      2. 一般財団法人                      3. 営利法人 4. NPO法人                              5. 財団法人と営利法人による共同体                      6. 財団法人とNPO法人による共同体 7. 複数の営利法人による共同体                      8. NPO法人と営利法人による共同体                      9. その他の構成の共同体 10. 上記以外の種別【具体的に：】		
補問3 現在の指定管理者の選考方法	1. 公募                      2. 非公募		
補問4 貴施設で最初に指定管理者制度が導入された時期	西暦【】年度		
補問5 現在の指定管理期間	西暦【】年【】月～西暦【】年【】月 【自動計算】ヶ月間		
補問6 利用料金制の導入	1. 導入している                      2. 導入していない		

#### 5.ホールの席数(席数が最も多いホール)について(車椅子席含む)【必須】

総席数(席)	
--------	--

#### 6.運営方針の有無について

策定状況	1. 設置者が策定している	2. 運営者が策定している	3. 策定していない ⇒ 補問へ
補問 今後運営方針を策定する予定はありますか。	1. 策定中	2. 策定予定	3. 予定なし



## ブロック2 職員の状況

### 7.職員について

#### 7-1.部門別の職員数 派遣・委託を含み、清掃・警備は含みません

① 運営全体の責任者(館長等)【必須】		1.いる ⇒内訳へ 2.いない						
内訳	設置団体職員 もしくは 出向者(人)	直接雇用(人)			派遣(人)	委託(人)	その他(人)	計(人)
		無期	有期 (契約・嘱託等)	有期(長期パート・アルバイト)				
男性(人)								
女性(人)								
計								

② 芸術に関する責任者(芸術監督等)【必須】		1.いる ⇒内訳へ 2.いない						
内訳	設置団体職員 もしくは 出向者(人)	直接雇用(人)			派遣(人)	委託(人)	その他(人)	計(人)
		無期	有期 (契約・嘱託等)	有期(長期パート・アルバイト)				
男性(人)								
女性(人)								
計								

③ 管理部門担当職員【必須】		1.いる ⇒内訳へ 2.いない						
内訳	設置団体職員 もしくは 出向者(人)	直接雇用(人)			派遣(人)	委託(人)	その他(人)	計(人)
		無期	有期 (契約・嘱託等)	有期(長期パート・アルバイト)				
男性(人)								
女性(人)								
計								

④ 事業部門担当職員【必須】		1.いる ⇒内訳へ 2.いない						
内訳	設置団体職員 もしくは 出向者(人)	直接雇用(人)			派遣(人)	委託(人)	その他(人)	計(人)
		無期	有期 (契約・嘱託等)	有期(長期パート・アルバイト)				
男性(人)								
女性(人)								
計								

⑤ 舞台技術担当職員【必須】		1.いる ⇒内訳へ 2.いない						
内訳	設置団体職員 もしくは 出向者(人)	直接雇用(人)			派遣(人)	委託(人)	その他(人)	計(人)
		無期	有期 (契約・嘱託等)	有期(長期パート・アルバイト)				
男性(人)								
女性(人)								
計								

⑥ その他【必須】		1.いる ⇒内訳へ 2.いない						
内訳	設置団体職員 もしくは 出向者(人)	直接雇用(人)			派遣(人)	委託(人)	その他(人)	計(人)
		無期	有期 (契約・嘱託等)	有期(長期パート・ アルバイト)				
男性(人)								
女性(人)								
計								

7-2.年齢別職員数

年齢	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計(人)

8.職員の採用について

令和3年度直接採用者【必須】	1. いる ⇒ 補問 1、2へ	2. いない
補問 1 採用理由(複数回答可)	1. 欠員補充	2. 事業拡大による増員
補問 2 採用者の経歴 (複数回答可)	1. 新卒・未経験者 3. 経験者(文化業界以外)	2. 経験者(他館、文化団体等文化業界から) 4. わからない

9.専門的人材の確保について

専門的人材の確保【必須】	1. 確保されている	2. 確保されていない ⇒ 補問 1、2へ
補問 1 今後、確保が必要な専門的 人材(複数回答可)	1. 芸術監督等 3. 管理・運営を行う人材 5. ファンドレイジングを行う人材 7. 実演家 9. わからない	2. 公演などの企画制作を行う人材 4. マーケティングを行う人材 6. 舞台技術者 8. その他[具体例： ]
補問 2 課題(複数回答可)	1. 専門的人材を探すルートがない 3. 人材育成のOJTの場が不足 5. 人事異動が頻繁であり、ノウハウが継承できない 7. 専門的人材が身近な地域で見つからない 9. 職務に相応しい給与・待遇が確保できていない 11. 定着率が低い、離職者が多い 13. わからない	2. 人材を評価するノウハウが不足 4. 人材を確保する財源が不足 6. 外部人材を正規雇用できない 8. 短期契約のため人材が育成できない 10. 若手の人材が採用できない 12. その他[具体例： ]

### ブロック3 令和3年度の施設利用実績・収支

#### 10.施設利用実績について(令和3年度実績)

##### 10-1.施設全体の利用可能日数、利用日数、施設稼働率【必須】

利用可能日数(日)	利用日数(日)	施設稼働率(%)
参考 R2年度	参考 R2年度	参考 R2年度

##### 10-2.ホール毎の稼働実績

ホール名称	総席数(席)	利用可能日数(日)	利用日数(日)	ホール稼働率(%)	年間入場者・参加者数(人)

#### 11.施設運営費について(令和3年度決算ベース)

##### 11-1.直営またはその他(国立等)の場合

収入項目	参考 R2年度	金額	支出項目	参考 R2年度	金額
総収入		円	総支出		円
一般財源等		円	事業費		円
事業収入(入場料等)		円	管理・運営費		円
貸館収入		円	人件費		円
補助金・助成金等		円	その他		円
その他		円			
<b>補問 管理・運営費に含まれない人件費(地方公共団体職員の人件費等)</b>					円

##### 11-2.指定管理の場合

収入項目	参考 R2年度	金額	支出項目	参考 R2年度	金額
総収入		円	総支出		円
指定管理料 ⇒ 補問3ハ		円	事業費		円
事業収入(入場料等)		円	管理・運営費		円
利用料金収入 ⇒ 補問1ハ		円	人件費		円
補助金・助成金等		円	その他		円
その他		円			
<b>補問1 指定管理料の変化</b>			1. 増加 2. 減少 3. 同程度		
<b>補問2 自治体の収入となる使用料金徴収業務について</b>			1. 有 徴収額[                    ],000円 2. 無		
<b>補問3 指定管理者が負担すべき小修繕費の上限について</b>			1. 30万円以下                    2. 31万~50万円                    3. 51万~100万円 4. 101万~200万円                    5. 200万円以上                    6. 決まっていない		
<b>補問4 指定管理料に含まれる項目について(複数回答可)</b>			1. 施設の管理・運営に係る人件費                    2. 施設の管理・運営に係る物件費 3. 自主事業に係る人件費                    4. 自主事業に係る物件費 5. その他[具体例:                    ]                    6. わからない		



## ブロック4 令和3年度の事業実施状況

### 12.主催文化事業(令和3年度実績)について【それぞれの実施「有無」のみ必須】

類型		実施有無	年間事業数 (件)	年間実施回数 (回)	年間入場者・ 参加者数(人)	入場料収入 (千円)	総支出額 (千円)	協賛金・助成金収入 額(千円)
主催文化事業 A 《合計》		有・無						
実施 方法 内訳 B	自主企画・制作	有・無						
	費取	有・無						
	共催・提携	有・無						
ジャンル 内訳 C	音楽	有・無						
	演劇	有・無						
	舞踊	有・無						
	伝統芸能	有・無						
	演芸	有・無						
	総合	有・無						
	上記以外の文化芸術系公演	有・無						
	文化芸術系以外の講演等	有・無						

### 13.人材養成事業(令和3年度実績)について【それぞれの実施「有無」のみ必須】

類型		実施有無	年間事業数 (件)	年間実施回数 (回)	年間入場者・ 参加者数(人)	入場料収入 (千円)	総支出額 (千円)	協賛金・助成金収入 額(千円)
人材養成事業 A		有・無						
自館で行う養成事業 B		有・無						
	アートマネジメント人材	有・無						
	舞台技術者	有・無						
	実演家	有・無						
	ボランティア	有・無						
	その他[具体例： ]	有・無						
他施設・大学等との連携事業 C		有・無						

### 14.普及啓発事業(令和3年度実績)について【それぞれの実施「有無」のみ必須】

類型		実施有無	年間事業数 (件)	年間実施回数 (回)	年間入場者・ 参加者数(人)	入場料収入 (千円)	総支出額 (千円)	協賛金・助成金収入 額(千円)
普及啓発事業 A		有・無						
	ワークショップ	有・無						
	普及型公演	有・無						
	アウトリーチ	有・無						
	その他[具体例： ]	有・無						

### 15.事業運営にあたっての課題【必須】(複数回答可)

1. 事業予算が確保できない	2. 事業を企画・実施するための人材が不足している
3. 長期的な視野に立った継続事業が実施できない	4. 利用者が固定化し、新規利用が伸び悩んでいる
5. 地域の文化団体との関係づくりがうまくできない	6. 学校教育、福祉、観光等、他の分野・関連施設と連携が進まない
7. 市民参画を推進したいが人材・ノウハウが不足している	8. 普及啓発事業を行いたいとその体制・予算がない
9. 実演家・実演団体等とのネットワークがない	10. 事業の評価方法がわからない
11. その他[具体例： ]	12. 特になし

16.貸館事業(令和3年度実績)について【それぞれの実施「有無」のみ必須】

ジャンル	実施有無	年間事業数 (件)	年間公演回数 (回)	年間入場者・ 参加者数(人)
貸館事業 A	有・無			
音楽	有・無			
演劇	有・無			
舞踊	有・無			
伝統芸能	有・無			
演芸	有・無			
総合	有・無			
上記以外の文化芸術系公演	有・無			
文化芸術系以外の講演等	有・無			

## ブロック5 その他の活動等

### 17.配慮を要する利用者への受け入れ体制【実施の有無のみ必須】

対応の実施の有無【必須】	1. 実施している⇒ 補問 1～3 へ	2. 実施していない
補問 1 対象としている層(複数回答可)	1. 障害者 3. 認知症の方 5. 外国人(日本語能力が低い方)	2. 高齢者 4. 乳幼児連れの方 6. その他[具体例: ]
補問 2 実施内容(複数回答可)	1. 職員研修の実施 3. 合理的配慮実施 5. 施設案内表示の多言語化 7. ひらがな表記の実施 9. 障害者向け公演・イベントの実施 11. 子連れの方向け公演・イベントの実施 13. アウトリーチ等の実施	2. 対応マニュアルの整備 4. 視聴覚障害者向けパンフ・ガイドの用意 6. パンフレットの多言語対応 8. ウェブサイトの多言語化 10. 鑑賞サポートの実施 12. 保育サービスの実施 14. その他[具体例: ]
補問 3 実施にあたっての課題	1. 専門性を持った人材の不足 3. 対応マニュアル等の未整備 5. 利用可能な補助金、助成金不足 7. その他[具体例: ]	2. ノウハウ等の研修機会の不足 4. 財源の不足 6. 外国人向け事業企画ノウハウ不足 8. 特にない

### 18.地域・社会貢献活動の実施について【実施の有無のみ必須】

地域・社会貢献活動の実施の有無【必須】	1. 実施している ⇒ 補問 1～4	2. 実施していない
補問 1 実施している(実施した)分野(複数回答可)	1. 教育・子育て 3. 障害者 5. コミュニティ・地域づくり 7. 観光・シティセールス・地域PR 9. 復興支援 11. 環境・エコ・自然保全 13. その他[具体例: ]	2. 福祉・介護 4. 社会的弱者対策(貧困、ひきこもり等) 6. 商店街連携・賑わいづくり 8. 産業連携・商品開発 10. 国際交流・外国人受け入れ 12. 学術・研究
補問 2 活動形態(複数回答可)	1. 公演・イベントの実施 3. ワークショップ、セミナー、教室、講座 5. 人員・ボランティア提供 7. 寄付・募金 9. その他[具体例: ]	2. アウトリーチ活動 4. インターン、人員受け入れ 6. 施設開放 8. 共同事業・施設連携・組織連携
補問 3 提携先団体(複数回答可)	1. 子育て・学校・教育機関、団体 3. 障害者団体 5. 商店会・商業施設等 7. 商工会・企業等 9. 環境・エコ・自然保護関係団体 11. 設置自治体 13. 文化芸術団体(プロ) 15. その他[具体例: ]	2. 福祉・介護団体 4. コミュニティ・地域づくり団体 6. 観光協会、観光関連業者 8. 国際交流・国際親善・外国人団体 10. 大学・研究機関 12. スポーツ団体 14. 文化芸術団体(アマチュア)
補問 4 実施にあたっての課題(複数回答可)	1. 自治体の理解や問題意識の不足 3. 財源確保・助成制度の確立 5. 市民とのコミュニケーション 6. 指定管理者制度上の問題(継続性、公募の弊害、指定管理料等) 7. その他[具体例: ]	2. 地域貢献活動を行うべき根拠の脆弱性 4. 専門人材の確保・育成 8. 特にない

19.危機管理、安全管理について

危機管理や安全管理に関するマニュアルの策定状況（複数選択可）	1. 地震対応マニュアル 3. 火災対応マニュアル 5. 感染症対応マニュアル 7. 情報管理・コンプライアンスマニュアル 9. マニュアル等は作成していない	2. 風水害対応マニュアル 4. テロ・不審者等対応マニュアル 6. PCセキュリティ対応マニュアル 8. その他【具体的に： 】
補問1 上記マニュアルは、発生時に役立ちましたか	1. 役に立った 4. 役に立たなかった	2. まあまあ役に立った 5. 対応する事案はない
補問2 上記マニュアルの改定、更新を行ったことがありますか。	1. ある ⇒ 補問3	2. ない
補問3 改定時期	1. 定期的に改定	2. 必要に応じ随時改定

20.耐震改修の実施状況

施設の竣工日	1. 昭和56年(1981年)5月31日以前(旧耐震) 2. 昭和56年(1981年)6月1日以降(新耐震)～平成3(1991年)年5月31日 3. 平成3年(1991年)6月1日～平成13年(2001年)5月31日 4. 平成13年(2001年)6月1日～平成23年(2011年)5月31日 5. 平成23年(2011年)6月1日以降	
耐震化の状況（昭和56年(1981年)以降 新耐震基準に対して）	1. 耐震基準を満たしている 3. わからない	2. 耐震基準を満たしていない
耐震判断の実施	1 耐震基準を満たしているので、予定はない。 2. 実施済み 西暦 [ ]年 [ ]月 3. 予定がある 西暦 [ ]年 [ ]月 4. 耐震工事が必要だが、時期については未定・検討中 5. わからない	
特定天井の脱落防止対策	1 基準を満たしているので、予定はない。 2. 実施済み 西暦 [ ]年 [ ]月 3. 予定がある 西暦 [ ]年 [ ]月 4. 耐震工事が必要だが、時期については未定・検討中 5. わからない	

21.ボランティアについて 【ボランティアの有無のみ必須】

ボランティアの有無【必須】	1. いる ⇒ 補問1～6へ	2. いない
補問1 種別(複数回答可)	1. 有償	2. 無償 3. その他【具体例： 】
補問2 活動状況(複数回答可)	1. 恒常的に	2. 事業ごとに 3. その他【具体例： 】
補問3 登録人数	[ ]人	うち男性 [ ]人 うち女性 [ ]人
補問4 活動内容(複数回答可)	1. 受付・案内・ホールスタッフ 4. 事業企画・制作への参加 7. 広報・宣伝・チケット販売	2. 託児 5. 舞台・音響・照明サポート 8. その他【具体例： 】
補問5 ボランティア担当職員の有無	1. いる	2. いない
補問6 課題(複数回答可)	1. ボランティアの確保 4. 研修の内容、時間 7. 役割分担、リーダーの選定	2. 具体的な活動内容 5. 担当職員の配置 8. メンバーの固定化
	3. マニュアルの作成 6. 特定組織、人材への依存 9. その他【具体例： 】	



## 22.友の会について

導入の有無	1. 導入している ⇒ 補問 1～5へ      2. 導入していない		
補問 1 導入時期	西暦 [    ] 年 [    ] 月 ～		
補問 2 会員数	[                    ] 人		
補問 3 年会費	1. 無料	2. 有料 [                    ] 円(税込)	
補問 4 会員特典 (複数回答可)	1. チケットの先行申込み 4. 会員のためのイベント等 7. DM、チラシの送付	2. チケットの割引 5. メールマガジン 8. その他[具体例：                    ]	3. 会報 6. 飲食等の割引・無料券
補問 5 課題 (複数回答可)	1. 会員の確保 4. 個人情報の保護 7. その他[具体例：                    ]	2. 会員の固定化 5. 担当職員の配置 8. 特にない	3. 特典内容 6. 会員の高齢化

## 23.情報発信・業務の効率化等について

取組内容(複数回答可)	1. ホームページの開設 4. 情報誌の発行 7. 新聞折込チラシやDMの活用 10. その他[具体例：                    ]	2. SNSの活用 5. 利用者等アンケートの実施 8. 施設予約管理システムの導入 11. 取り組んでいない	3. メールマガジンの発行 6. 設置団体の広報紙やHP等の活用 9. チケット販売管理システムの導入
課題(複数回答可)	1. 専門人材の確保、育成 4. 個人情報の保護	2. 担当職員の配置 5. その他[具体例：                    ]	3. 財源の確保 6. 特にない

## 24.貴施設の課題について

施設管理、事業運営、財源（資金調達を含む）等について、課題がありましたら、ご記入ください。

## 25.その他

その他調査について連絡事項等ありましたらご記入ください。

# 全国劇場・音楽堂等職員 アートマネジメント研修会

A

オンデマンド配信 5プログラム

令和5年1月17日(火)～2月28日(火)

B

ライブ配信 6プログラム

令和5年1月24日(火)～1月26日(木)

(2月28日(火)までアーカイブ視聴可能)

C

ワークショップ 3プログラム | 対面 |

令和5年1月18日(水)～1月20日(金)

無料

事前申込

字幕付き

申込み受付期間

オンデマンド配信・ライブ配信: 令和4年11月15日(火)～令和5年2月28日(火)

ワークショップ: 令和4年11月15日(火)～令和4年12月5日(月)

## 特別企画

### 劇場とともに –日本の劇場に求められること–

英国のロイヤル・バレエ団でプリンシパルとして長い間活躍され、2020年に新国立劇場の舞踊芸術監督に就任した吉田都氏。アーティストとして、芸術監督として、劇場とともに歩んできたご経験から、劇場という“場”に対する思いを伺います。芸術監督に就任して2年間、コロナ禍で活動を続けてきた中で考える、芸術・劇場がもつ役割とは。劇場の現場で働く皆さんへのメッセージです。

【講師】 吉田 都／新国立劇場 舞踊芸術監督

【インタビュアー】 石山 智恵／フリーキャスター

© Tamaki Yoshida



## ●人材養成講座

この講座は、平成26年にまとめた〈劇場・音楽堂等人材養成講座テキスト〉をベースに、「文化芸術基本法」の改訂や「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」の公布などを踏まえ、劇場に就職して3年以内の職員を対象に「基礎編」として開催しているものです。職員の皆様が全員で受講し意見交換をする、またはグループで受講するなどの工夫をして、ご活用いただければ幸いです。

### 自治体文化政策と劇場・音楽堂等

この講座は、公立の文化ホール、市民会館、劇場、音楽堂等の経営や現場実務に携わる人を対象としてお話しします。もちろん、自治体の文化行政担当部局の職員さんもお聞き頂ければ、と思います。自治体文化政策はなぜ必須不可欠な行政分野となっているのか。市民文化政策と文化的人権。都市文化政策と都市の経済活性化、観光政策との関係。文化芸術基本法を理解する。劇場・音楽堂活性化法を理解する。公共的な劇場経営の基本を理解し、劇場の経営戦略を明確化する。その他、指定管理者制度留意点と今後の方向性。行政（施設設置者）と公設財団（指定管理者など）のあるべき姿、など、現場が身につけるべき文化政策理論を分かりやすくお話しします。

【講師】 中川 幾郎／（公社）全国公立文化施設協会 名誉アドバイザー

【令和3年度全国アートマネジメント研修会プログラム 再配信】

### 文化政策と劇場・音楽堂等

【講師】 柴田 英紀／（公社）全国公立文化施設協会 アドバイザー

【令和3年度全国アートマネジメント研修会プログラム 再配信】

### 劇場・音楽堂等の事業、危機管理とリスク対応

【講師】 間瀬 勝一／（公社）全国公立文化施設協会 名誉アドバイザー

## ●コンセッション事業の可能性について

6月に発表された政府の“骨太の方針”に、「民間による社会的価値の創造」の一環として「文化施設へコンセッション導入」が明記され、利用料金の徴収を行う公共施設について、施設の所有権を自治体が有したまま、運営権を民間事業者を設定する方式の活用対象の拡大が示されました。

本講座では、このようなコンセッション事業（公共施設等運営事業）の概要について説明するとともに、先行事例である美術館への導入として大阪市中之島美術館を紹介し、文化施設への展開について概観します。

【講師】 堀内 威志／文化庁 企画調整課 課長補佐

岩槻 大輔／（地独）大阪市博物館機構 事務局 総務課長

【モデレーター】 吉本 光宏／（公社）全国公立文化施設協会 コーディネーター

## B ライブ配信プログラム

配信期間：1月24日～1月26日

(配信後、2月28日まで視聴いただけます)

1/24 (火) 10:30～12:00

施設の活用

### 劇場空間の活かし方

ー 地域の文化拠点としての機能を発揮する先進事例とともにー

劇場法では、劇場・音楽堂等は「地域の文化拠点」や「新しい広場」としての役割が求められております。この劇場法制定から10年が経過し、劇場・音楽堂等の現場ではホールでの演劇や音楽などの公演という形に縛られずに劇場空間を幅広い形で捉え、劇場ファンづくりや、地域貢献を目指した事例が出てきております。

本講座では、政令指定都市札幌市の複合施設と東京都調布市の演劇専用ホールにおける創意工夫を重ねた先進的な事例等を紹介しながら、地域と共生し、地域に支援されるための劇場空間について考えます。

【講師】 松本 桜子 / (公財)札幌市芸術文化財団 市民交流プラザ事業部  
センター事業課 事業係  
常廣 大助 / 調布市せんがわ劇場 館長  
【モデレーター】 神保 富美子 / (公社)全国公立文化施設協会 コーディネーター

1/25 (水) 13:30～15:00

共生社会

### 劇場が「じぶんごと」として企画するには？

ー 障害者による文化芸術活動の推進のためにー

2018年に制定された「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」は、障害者の鑑賞の機会、参加の機会を保障しています。施行から5年目の現在、現状はどうでしょうか。とりわけ、聴覚障害者、視覚障害者が劇場にアクセスするにあたって課題が多く残されています。その背景として、各団体が「じぶんごと」として受け止め切れていない点があるのではないのでしょうか。法律の意義を確認し、意識をアップデートする機会にしましょう。

【講師】 山村 研二 / 文化庁 地域文化創生本部 総括・政策研究グループ  
グループリーダー  
吉野 さつき / 愛知大学文学部人文社会学科 教授  
【モデレーター】 廣川 麻子 / (公社)全国公立文化施設協会 コーディネーター

1/24 (火) 13:30～15:00

文化芸術推進基本計画

### 「文化芸術推進基本計画（第2期）」の審議過程と今後に向けて

「文化芸術推進基本計画（第2期）」が文化審議会文化政策部会において現在審議中で、間もなく文部科学大臣に答申されることになっています。その検討状況を踏まえ、次期文化芸術推進基本計画の要点、方向性等について、文化政策部会委員として計画策定に直接かかわっておられるお二人からお話をお伺いして、国の文化政策の形成過程を知る一助とします。地方自治体や公立文化施設が次期基本計画を読み解き、今後を展望するために直接資する講座としていきます。

【講師】 小林 真理 / 東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学専攻 教授  
【モデレーター兼講師】 石田 麻子 / (公社)全国公立文化施設協会 コーディネーター

1/26 (木) 10:30～12:00

伝統芸能

### 〈伝統芸能〉事業展開のカギ…その文化政策的視点とは？

ー 次世代への普及と地域振興に向けてー

前進・上昇志向を一時休止して「後方や足元に蓄積された伝統文化への着目」へ…コロナ禍は、私たちに意識の軌道修正を促している、と受け止められるのではないのでしょうか。伝統芸能への取り組みにかかっているブレーキを外し、本来「面白く、楽しく、カッコイイ」はずの、地域ひいては日本の伝統文化へのアプローチについて、文化政策的視点から具体的かつ実践的な方法論の共有を目指したいと思います。子どもたちへ、そして地域振興に向けて、伝統文化の価値を伝えられるのは公共の文化事業だけなのかもしれません。

【講師】 綿江 彰禪 / (一社)芸術と創造 代表理事  
【モデレーター】 小野木 豊昭 / (公社)全国公立文化施設協会 コーディネーター

1/25 (水) 10:30～12:00

ピアノの保守

### 楽器のおはなし

ー ホールのピアノはどのように扱ったらよいかー

多くの文化施設で、ピアノの扱い方について日々疑問に思っていることは意外と多いのではないのでしょうか。

- ・ピアノにはいけないことは何？
- ・ピアノは何年使えるの？
- ・調律師は調律のときどんなことをしているの？

この講座では、施設のピアノの保管方法、日々の管理、定期的なメンテナンスなど、施設が抱えている疑問を解き明かし、ピアノを少しでも「長持ち」させるためのヒントを、専門家の立場から語っていただきます。

【講師】 伊藤 誠 / (株)ヤマハミュージックジャパン カスタマーサポート部  
ピアノ技術サービス課  
松島 千裕 / 東京芸術劇場 管理課 舞台管理  
【モデレーター】 竹内 淳 / (公社)日本オーケストラ連盟 常務理事・事務局長

1/26 (木) 13:30～15:00

改修・建替え

### 公立劇場の建替え（あるいは大規模の模様替え）への決断と再建へのロードマップ

ー フェニーチェ堺と岡山芸術創造劇場の事例研究ー

近年の公立劇場の建替え（あるいは大規模の模様替え）では、耐震性能不足の補強や舞台設備を含む設備の老朽化、特定天井改修などの改修経費と、新たな施設設備に伴う投資を比較した上で建替えを決断することが少なくありません。また、建替えを決断する場合には、前後して建替えのためのロードマップを検討していくことが求められます。そのロードマップ検討で最も大きなポイントになるのは、現地建替えか否か、整備手法（従来手法、PFI、EPC、DB、リース、再開発など）、そして整備費の調達などです。今回は、これらのことを事例を通してご理解いただく上で、フェニーチェ堺と岡山芸術創造劇場の整備を通じて考えていきます。

【講師】 柴坂 哲也 / フェニーチェ堺(堺市民芸術文化ホール) 企画制作担当課長  
萬成 龍一 / 岡山市市民生活局 スポーツ文化部 文化振興課 主査  
【モデレーター】 草加 叔也 / (公社)全国公立文化施設協会 アドバイザー

## ③ ワークショップ 会場：東京都中小企業会館（予定）

- 会場にお越しいただく対面でのワークショップ型講座です。
- 3日間または2日間の日程すべてへの出席が必須となります。
- ワークショップは、複数のプログラムに申し込むことはできません。（プログラムのみ申込み可能）
- 申込み多数の場合は、応募書類による選考を行います。

<p><b>1/18</b> (水) 13:00 ┆ 18:00</p>	<p><b>地域社会の中で息づく劇場・音楽堂を考える 《3日間》</b> <span style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">文化政策</span></p> <p>—我が国の文化政策、劇場法、劇場法にかかる指針等を劇場経営にどう活かせるか?—</p> <p>劇場法が制定されて10年が過ぎ、2023年は第16条に基づく大臣指針が策定されて10年目を迎えます。現在、職員は世代交代し、劇場法の理念や考え方が明確に次代に受け継がれているかを確認する時期にきています。政策や法律は、劇場現場からは遠い存在ですが、指定管理者制度の更新や助成金申請等には、理論や概念として理解し、現場で積極的に活かすことが必要です。次代を担う劇場職員の方々奮ってご参加ください。時代の変化に耐えうる劇場経営について、講師や参加者と共に大いに語り、悩みましょう。劇場経営に正解などありません。応用問題を日々解き続けるために心身の体力と思考力を鍛錬することが求められています。</p> <p>---</p> <p>募集人数：20名 対 象 者：劇場・音楽堂等勤務歴10年程度の方、中堅職員の方等 応募書類：受講アンケート、小論文（1,200字程度）</p> <hr/> <p>【講師】 坂崎 裕二／(公財)可児市文化芸術振興財団 事業制作課 課長 赤羽根 哲也／(公財)さいたま市文化振興事業団 事業課 課長補佐 【講師・モデレーター】 柴田 英紀／(公社)全国公立文化施設協会 アドバイザー</p>
<p><b>1/19</b> (木) 9:30 ┆ 18:00</p>	
<p><b>1/20</b> (金) 9:30 ┆ 12:00</p>	

<p><b>1/18</b> (水) 9:30 ┆ 17:00</p>	<p><b>公立文化施設活性化のためのステップ・アップ研修 A 《2日間》</b> <span style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">管理職研修</span></p> <p>館長の役割～館を任せられたら</p> <p>館長の役割とは、館の方針と戦略を示し、メンバーのモチベーションを高め、チームでミッションの実現と目標の達成を果たすといった総合的で困難なものです。本講義では、現在あるいはこれから館を任せられる（時期にきている）方々を対象に、劇場経営において館長が行うべき基本事項を整理していきます。参加者同士も話し合い、現在抱える悩みについて解決の糸口の一つでも見つけ出すことを目指します。グループワークと理論をふまえた講義から構成する課題解決型の研修です。</p> <p>---</p> <p>募集人数：20名 対 象 者：館長等施設運営責任者、管理職の方等 応募書類：受講アンケート</p> <hr/> <p>【講師】 北村 成美／ダンサー・振付家 【講師・モデレーター】 大久保 充代／(公社)全国公立文化施設協会 コーディネーター</p>
<p><b>1/19</b> (木) 9:30 ┆ 12:30</p>	

<p><b>1/19</b> (木) 13:30 ┆ 17:00</p>	<p><b>公立文化施設活性化のためのステップ・アップ研修 B 《2日間》</b> <span style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">管理職研修</span></p> <p>何が人と組織をいきいきと動かしていくのか</p> <p>公立文化施設は、地域文化を創造するコミュニティの拠点です。人と地域が豊かになるためには、まず公立文化施設がいきいきと活性化することが大切です。そのためには、楽しく仕事のしやすい環境、モチベーションの高さ、信頼関係などが必要と考えられます。また、多様な市民が多様な文化と繋がるためには、市民と協働し、柔軟性のある取り組みが不可欠です。ケーススタディでさまざまな考え方を共有し、参加者が抱える課題の解決に向けてグループワークにより学びを深めていきます。</p> <p>---</p> <p>募集人数：20名 対 象 者：館長等施設運営責任者、管理職の方等 応募書類：受講アンケート</p> <hr/> <p>【講師】 柏木 陽／NPO法人演劇百貨店 代表、演劇家 【講師・モデレーター】 水戸 雅彦／(公社)全国公立文化施設協会 コーディネーター</p>
<p><b>1/20</b> (金) 9:15 ┆ 16:45</p>	

## A オンデマンド配信プログラム B ライブ配信プログラム について

開催期間: オンデマンド配信 令和5年1月17日(火)～2月28日(火) 5プログラム  
 ライブ配信 令和5年1月24日(火)～1月26日(木) 6プログラム  
 (2月28日(火)までアーカイブ視聴可能)

申込み受付期間: 令和4年11月15日(火)～令和5年2月28日(火)

申込み方法: 全国公立文化施設協会ホームページからお申込みください。

<https://www.zenkoubun.jp/training/art.html>

お申込みの後、視聴ページのURLとパスワードをメールでお送りします。

## C ワークショップについて

開催期間: 令和5年1月18日(水)～1月20日(金) 3プログラム

会場: 東京都中小企業会館 講堂・会議室(予定)  
 東京都中央区銀座2-10-18

申込み受付期間: 令和4年11月15日(火)～令和4年12月5日(月)

申込み方法: 全国公立文化施設協会ホームページ <https://www.zenkoubun.jp/training/art.html>  
 からお申込みの上、応募書類を別途メールでご提出ください。

- \* ホームページでの申込みと応募書類の提出をもって申込み完了となります。  
 応募書類の提出期限も12月5日(月) ですのでご注意ください。
- \* 応募書類の様式は上記ホームページでダウンロードしてください。
- \* 申込み多数の場合、受講者の選考をいたします。  
 12月20日までに申込みいただいたすべての方に選考結果をご連絡いたします。
- \* 受講者数により、会場が変更になる場合がございます。

### ●新型コロナウイルス感染防止対策について

当研修会は、劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン及び国の新型コロナウイルス感染症対策の方針に則り、以下の対策を講じて開催します。

1. 発熱や咳などの風邪症状のある方、体調の思わしくない場合はご参加をお控えください。また、受付時に体温を確認いたします。
2. 消毒液を準備しておりますので、入室時のほか、小まめに手指の消毒をお願いします。
3. 会場では常にマスクの着用をお願いします。

上記の注意事項について、ご理解とご協力のほどお願いいたします。

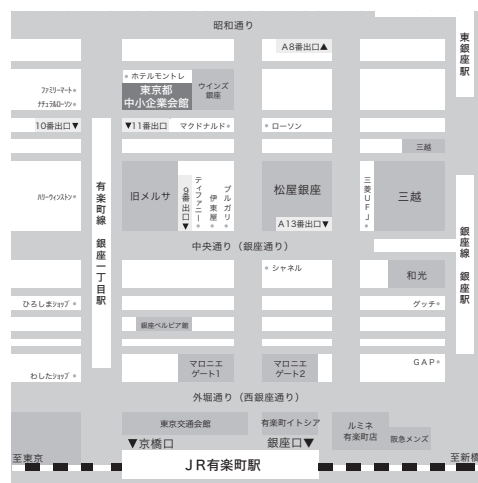
### 会場アクセス

#### 東京都中小企業会館

〒104-0061 東京都中央区銀座2-10-18

- JR山手線「有楽町駅」京橋口より徒歩10分
- 東京メトロ有楽町線「銀座一丁目駅」11番出口より徒歩1分
- 東京メトロ銀座線「銀座駅」A13出口より徒歩5分
- 都営浅草線「東銀座駅」A8出口より徒歩5分

※駐車場、駐輪場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。



令和4年度文化庁委託事業 劇場・音楽堂等基盤整備事業

## 全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会



- 主 催：**文化庁／公益社団法人全国公立文化施設協会
- 目 的：**劇場・音楽堂等の活性化、地域の文化芸術の振興を目的として、アートマネジメントに関する研修を体系的に実施することにより、専門性の向上と劇場・音楽堂等の活性化を支援する。
- 対 象：**劇場・音楽堂等職員、地方自治体の文化芸術振興行政担当者、アートマネジメント教育関係者、学生、アートマネジメントに関心のある方、一般の方等
- 参 加 費：**無料
- 企 画 委 員：**大久保充代 草加叔也 柴田英紀 水戸雅彦
- 企画・制作：**公益社団法人全国公立文化施設協会

### 【ご注意】

- ・お申込み時にご記入いただいた個人情報は、当事業の運営のための資料のほか、今後の事業案内等に使用させていただく場合がございます。
- ・プログラム内容、講師は変更になる場合がございます。最新の情報をホームページでご確認の上お申込みください。
- ・各プログラムの配信時間、所要時間は前後する場合がございます。
- ・ネットワークの回線状況や視聴者側の環境により、再生が出来ない場合や画面・音声が不安定になる場合があります。ご了承ください。
- ・ライブ配信では、リアルタイム字幕を予定しています。配信映像とのずれや、映像再生部分など字幕が表示できない場合が想定されます。ご了承ください。
- ・講義資料及び配信映像の録画・録音・撮影など複製ならびに二次利用は一切禁止です。

問合せ先

公益社団法人全国公立文化施設協会

〒104-0061 東京都中央区銀座2-10-18 東京都中小企業会館4階  
tel 03-5565-3030 fax 03-5565-3050  
e-mail art@zenkoubun.jp



札幌文化芸術劇場  
hitaru  
SAPPORO CULTURAL ARTS THEATER

## 「全国劇場・音楽堂等職員 舞台技術研修会」

### 第3回 hitaru 舞台技術セミナー

－テーマ：見えないものを知る－

- 1 主催 文化庁・公益社団法人全国公立文化施設協会  
共催 札幌市民交流プラザ（公益財団法人札幌市芸術文化財団）
- 2 目的 劇場・音楽堂等の舞台技術を統括管理するために必要な、専門的知識や技術の習得を図るための研修を行い、もって劇場・音楽堂等の円滑な運営に資する。
- 3 開催期間 令和5年1月11日（水）・12日（木）
- 4 会場 札幌文化芸術劇場 hitaru（〒060-0001 札幌市中央区北1条西1丁目 札幌市民交流プラザ4階）  
アクセス：市営地下鉄東西線・南北線・東豊線  
「大通」駅30番出口から西2丁目地下歩道より直結 徒歩約2分  
<https://www.sapporo-community-plaza.jp/access.html>
- 5 会場受付 札幌市民交流プラザ4階 札幌文化芸術劇場 hitaru ホワイエ
- 6 対象 ①劇場・音楽堂等の舞台技術管理者及び舞台技術管理責任者または舞台技術担当職員（指定管理者、舞台業務受託者に属する者を含む）  
②文化行政主管部局の舞台技術担当職員  
③劇場・音楽堂等関係者、その他舞台技術関係者、舞台技術に関心のある者 等
- 7 プログラム 個別のプログラム内容は2ページをご覧ください。
- 8 お申込み 受付期間 令和4年11月15日（火）～ 令和5年1月4日（水）  
申込方法 公益社団法人全国公立文化施設協会 ホームページからお申込みください。  
<https://www.zenkoubun.jp/training/technic.html>
- 9 お申込み内容の確認・変更について  
・Web申込後、自動返信で受講受付内容及び受講生番号が返送されます。内容の確認をお願い致します。  
・申込内容の変更をご希望の方は、お電話で事務局までご連絡ください。
- 10 感染症予防対策について  
・検温やマスク着用など、基本的な感染症予防対策について、皆様のご理解・ご協力をお願いします。体調の優れない方は、来場をお控えください。



検温



マスク着用・手洗い・消毒



社会的距離の確保



## 舞台技術研修会 プログラム

ワイヤレスマイク、ワイヤレスインカム、Wi-Fi、そして携帯電話。いま、劇場・舞台技術の現場において欠くことのできないモノ達。

当セミナーは このモノ達を支える、見えないもの = 「電波」 に焦点を当て、その基礎の再確認とともに互いの干渉という点も積極的に考察します。また、安全管理(保守点検や関係法令)について学ぶ機会とします。

日時	時間	プログラム内容	講師
1/11 (水)	9:30~	受付	
	10:00~ 10:10	開講式	挨拶：斎藤義晶 (公財)札幌市芸術文化財団 市民交流プラザ事業部長 札幌市市民交流プラザ 館長
	10:10~ 11:40	<b>プログラム 1</b> ワイヤレスインカム・Wi-Fi 基礎とその仕組みを学ぶ	講師：水村昭則 ベストテックオーディオ株式会社
	11:40~	休 憩 (60 分)	
	12:40~ 14:10	<b>プログラム 2</b> ワイヤレスマイク (A 帯、B 帯) 基礎とその仕組みを学ぶ	講師：井上直行 シュア・ジャパン株式会社
	14:10~	休 憩 (15 分)	
	14:25~ 15:55	<b>プログラム 3</b> 携帯抑止装置 (携帯電話) 基礎とその仕組みを学ぶ	講師：滝川政志 株式会社テレ・ポーズ
	15:55~	休 憩 (15 分)	
	16:10~ 17:00	<b>プログラム 4</b> システム説明・質疑応答 及び 12 日の実験に向けて	講師：水村昭則、井上直行、滝川政志
1/12 (木)	9:30~	受 付	
	10:00~ 12:00	<b>プログラム 5</b> 3 社による合同の検証実験	講師：水村昭則、井上直行、滝川政志
	12:00~	休 憩 (60 分)	
	13:00~ 14:00	<b>プログラム 6</b> 保守点検と改修工事 「説明する」ということ	モデレーター・講師：伊藤久幸 (公財)札幌市芸術文化財団 市民交流プラザ事業部 舞台技術部長
	14:00~ 15:00	<b>プログラム 7</b> 関連法令 高所作業など	講師：齋藤玲 (公財)札幌市芸術文化財団 市民交流プラザ事業部 舞台技術係長
	15:00~ 15:15	閉講式	挨拶：岸正人 (公社)全国公立文化施設協会 専務理事兼事務局長
	15:15~	休 憩 (15 分)	
15:30~ 17:00	施設見学会	案内：札幌文化芸術劇場 hitaru 舞台技術部	

協力：札幌文化芸術劇場 hitaru 舞台技術部  
株式会社北海道ステージアートアライアンス

### 事務局

公益社団法人 全国公立文化施設協会  
〒104-0061 東京都中央区銀座 2-10-18 東京都中小企業会館 4F  
電話：03-5565-3030 FAX：03-5565-3050  
E-mail：tech@zenkoubun.jp

令和4年度 文化庁委託事業  
**劇場・音楽堂等基盤整備事業報告書**

---

令和5年（2023年）3月発行

編集発行 公益社団法人全国公立文化施設協会  
〒104-0061 東京都中央区銀座2-10-18  
東京都中小企業会館4F  
電話 03-5565-3030 FAX 03-5565-3050  
編集協力 株式会社ステラ  
印刷 日本印刷株式会社

---





公益社団法人全国公立文化施設協会